

平成 14 年度

一般廃棄物処理の現況

(平成 16 年 8 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量.....	1
(2) 各地区の状況.....	2
2. ごみの分別収集状況, 収集形態の状況	
(1) 全県の状況.....	7
(2) ブロック別の状況.....	8
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 全県の状況.....	22
(2) 各地区の状況.....	23
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 全県の状況.....	37
(2) ブロック別の状況.....	38
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置.....	50
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口.....	60
(2) し尿処理の状況.....	61
(3) し尿処理施設.....	62
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	63
(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	63
(2) ブロック別のごみ処理事業経費の概要.....	63
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	68
7-3 委託・許可業者数.....	68
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	68
8. ダイオキシン類対策等の状況.....	69

II 資料編

1. ごみ処理の概況	
(1) ごみ処理フロー(平成14年度実績)	71
(2) ごみ処理の状況(市町村別)	72
(3) ごみ処理の収集体制・分別状況(事業系ごみを除く)	76
(4) 保管施設整備状況	77
(5) 平成14年度資源回収状況	78
(6) ごみ処理施設整備状況(平成16年3月31日現在)	80
(7) 不燃物処理施設整備状況(粗大ごみ処理施設含む)	82
(8) 埋立処分地施設整備状況	84
(9) ごみ処理施設(焼却施設)整備状況図(平成16年3月31日現在)	86
2. し尿処理の概況	
(1) し尿処理フロー(平成14年度実績)	87
(2) 衛生処理人口	88
(3) し尿処理の状況(市町村別)	92
(4) し尿処理の状況(事務組合別)	94
(5) コミュニティプラント施設整備状況(平成16年3月末現在)	95
(6) し尿処理施設整備状況(平成16年3月31日現在)	96
(7) し尿処理施設整備状況図(平成16年3月31日現在)	98
3. 廃棄物処理事業の概要	
(1) 廃棄物処理事業従事職員(市町村別)	99
(2) 廃棄物処理事業従事職員(事務組合別)	100
(3) 委託・許可件数	101
(4) 廃棄物事業経費(市町村別)	102
(5) 廃棄物事業経費(事務組合別)	106
(6) 一般廃棄物処理業者等関係整備状況	108
4. 浄化槽整備状況	
(1) 年度別浄化槽設置状況	109
(2) 市町村別・規模別浄化槽設置状況(平成14年度末)	110
(3) 浄化槽設置整備事業実績(平成14年度末)	111
(4) 市町村設置型浄化槽整備実績(平成14年度末)	112
(5) 浄化槽法定検査(法第11条)実施状況(平成14年度)	113
5. 参考資料	
島根県における一般廃棄物処理体制(平成16年3月31日現在)	114
廃棄物処理関係一部事務組合一覧表	115
島根県の廃棄物行政機関	117

I 概要編

1. ごみ処理の概要

(1) ごみの総排出量

県内のごみ排出量と処理の推移を表1-1, 図1-1, 2に示す。

平成14年度における県内のごみの総排出量は267,875tであり、前年より約1.5%減少している。

計画収集人口は753,934人で総人口の98.7%となっている。ごみ1人1日当たりの総排出量は、961gで前年より13g減少している。

表1-1 ごみ排出量と処理の推移

区 分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
総人口(人)	771,640	768,496	767,571	764,909	763,822
計画収集人口	747,360	749,572	755,291	752,303	753,934
自家処理人口	24,280	18,924	12,280	12,606	9,888
計画収集率(%)	96.9	97.5	98.4	98.4	98.7
総排出量(t/年)	247,180	254,257	262,229	271,902	267,875
計画収集量	208,708	217,155	220,407	229,362	225,211
直接搬入量	23,902	24,176	29,742	29,664	32,130
自家処理量	14,570	12,926	12,080	12,876	10,534
計画処理量(t/年)	232,610	241,331	250,149	259,026	253,121
焼却	163,520	165,434	164,803	174,126	171,478
焼却以外	45,140	53,923	63,047	65,008	70,145
直接埋立	23,950	21,974	22,299	19,892	11,498
1人1日総排出量(g)	878	906	936	974	961

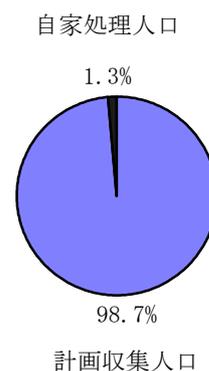
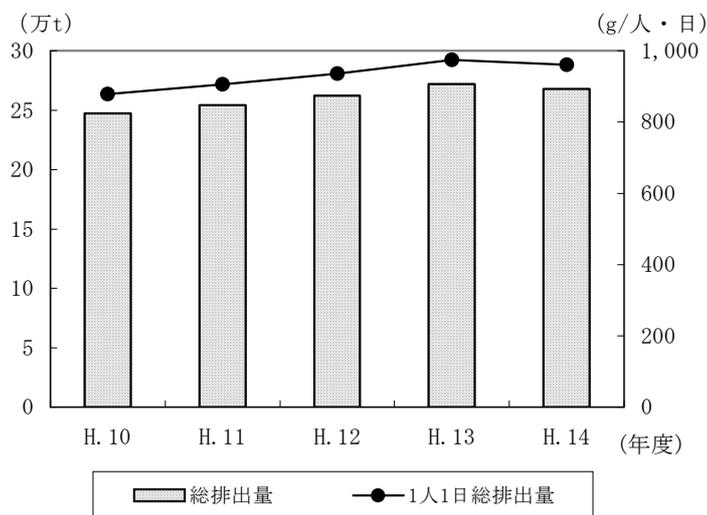


図1-1 ごみ排出量の推移

図1-2 計画収集人口の割合

注) 計画処理区域内人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口 = 総人口
 総排出量 (t/年) = 計画収集量 + 直接搬入量 + 自家処理量
 計画処理量 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立
 1人1日当り総排出量 (g/人・日) = 総排出量 / 総人口 / 365日 × 10⁶

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江ブロック(松江市, 鹿島町, 島根町, 美保関町, 東出雲町, 八雲村, 玉湯町, 宍道町, 八束町)

可燃ごみ処理は、松江地区広域行政組合で行われている。

当ブロックの総排出量は 80,750t, 計画処理量は 74,400t であり、1人1日総排出量は 1,054g と県平均の 961g を上回っている。

②安来ブロック(安来市, 広瀬町, 伯太町)

可燃ごみ処理は、安来能義広域行政組合で行われている。

当ブロックの総排出量は 12,711t, 計画処理量は 12,075t であり、1人1日総排出量は 761g と県平均の 961g を大きく下回っている。

表 1-2 ブロック別ごみ排出量と処理内訳

区 分	松江ブロック	安来ブロック
総人口(人)	209,892	45,779
計画収集人口	209,205	45,779
自家処理人口	687	0
計画収集率(%)	99.7	100.0
総排出量(t/年)	80,750	12,711
計画収集量	73,670	10,382
直接搬入量	5,273	1,666
自家処理量	1,807	663
計画処理量(t/年)	74,400	12,075
焼却	51,531	8,874
焼却以外	20,777	2,662
直接埋立	2,092	539
1人1日総排出量 (g)	1,054	761

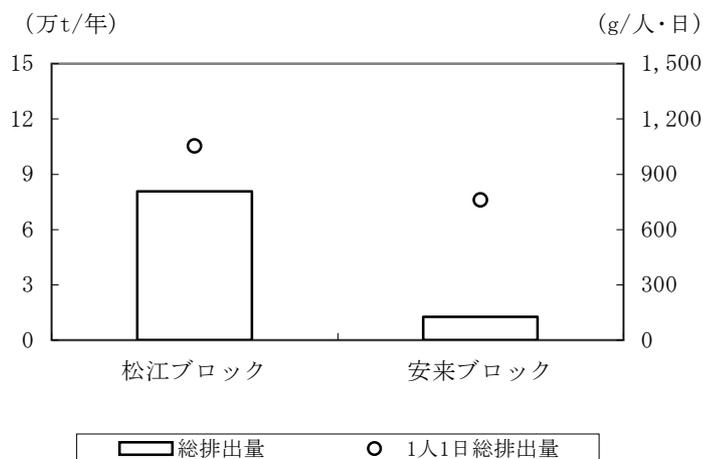


図1-3 ブロック別ごみ排出量

<出雲地区>

①仁多横田ブロック(仁多町, 横田町)

可燃ごみ処理は、仁多町横田町広域事務組合で行われている。

当ブロックの総排出量は5,862t, 計画処理量は5,062tであり、1人1日総排出量は954gと県平均の961gを下回っている。

②加茂ブロック(大東町, 加茂町, 木次町, 三刀屋町)

可燃ごみ処理は、加茂町外三町清掃組合で行われている。

当ブロックの総排出量は11,054t, 計画処理量は10,322tであり、1人1日総排出量は749gと県平均の961gを大きく下回っている。

③飯石ブロック(吉田村, 掛合町, 頓原町, 赤来町)

可燃ごみ処理は、飯石郡町村事務組合で行われている。

当ブロックの総排出量は3,624t, 計画処理量は2,770tであり、1人1日総排出量は768gと県平均の961gを大きく下回っている。

④出雲ブロック(出雲市, 平田市, 斐川町, 佐田町, 多伎町, 湖陵町, 大社町)

可燃ごみ処理は、出雲市外6市町広域事務組合で行われている。

当ブロックの総排出量は67,700t, 計画処理量は66,071tであり、1人1日総排出量は1,050gと県平均の961gを上回っている。

表 1-3 ブロック別ごみ排出量と処理内訳

区 分	仁多横田 ブロック	加茂ブロック	飯石ブロック	出雲ブロック
総人口(人)	16,842	40,424	12,931	176,662
計画収集人口	15,636	38,927	10,083	176,662
自家処理人口	1,206	1,497	2,848	0
計画収集率(%)	96.3	78.0	92.8	100.0
総排出量(t/年)	5,862	11,054	3,624	67,700
計画収集量	3,880	7,980	2,576	57,387
直接搬入量	1,684	2,203	174	8,529
自家処理量	298	871	874	1,784
計画処理量(t/年)	5,062	10,322	2,770	66,071
焼却	3,430	0	1,562	46,933
焼却以外	1,549	9,759	1,208	13,408
直接埋立	83	563	0	5,730
1人1日総排出量 (g)	954	749	768	1,050

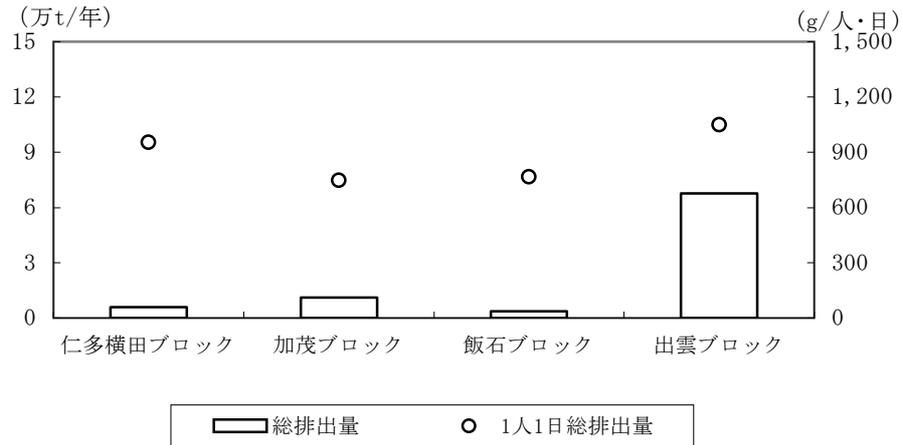


図1-4 ブロック別ごみ排出量

<浜田地区>

①大田ブロック(大田市, 温泉津町, 仁摩町)

可燃ごみ処理は、大田市外 2 町広域行政組合で行われている。

当ブロックの総排出量は 15,047t, 計画処理量は 13,107t であり、1 人 1 日総排出量は 954g と県平均の 961g を下回っている。

②邑智ブロック(川本町, 邑智町, 大和村, 羽須美村, 瑞穂町, 石見町)

可燃ごみ処理は、邑智郡町村総合事務組合で行われている。

当ブロックの総排出量は 5,593t, 計画処理量は 5,091t であり、1 人 1 日総排出量は 612g と県平均の 961g を大きく下回っている。

③浜田ブロック(浜田市, 江津市, 桜江町, 金城町, 旭町, 弥栄村, 三隅町)

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合(桜江町は委託)で行われている。

当ブロックの総排出量は 32,558t, 計画処理量は 31,514t であり、1 人 1 日総排出量は 947g と県平均の 961g を下回っている。

④益田ブロック(益田市, 美都町, 匹見町, 津和野町, 日原町, 柿木村, 六日市町)

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行われている。

当ブロックの総排出量は 22,099t, 計画処理量は 21,741t であり、1 人 1 日総排出量は 821g と県平均の 961g を下回っている。

表 1-4 ブロック別ごみ排出量と処理内訳

区 分	大田ブロック	邑智ブロック	浜田ブロック	益田ブロック
総人口(人)	43,231	25,040	94,159	73,710
計画収集人口	43,190	25,040	91,629	72,631
自家処理人口	41	0	2,530	1,079
計画収集率(%)	99.9	100.0	97.3	98.5
総排出量(t/年)	15,047	5,593	32,558	22,099
計画収集量	11,237	3,903	28,523	20,322
直接搬入量	1,959	1,195	2,649	1,300
自家処理量	1,851	495	1,386	477
計画処理量(t/年)	13,107	5,091	31,514	21,741
焼却	9,671	3,345	21,826	15,357
焼却以外	3,380	1,678	9,649	4,858
直接埋立	56	68	39	1,526
1人1日総排出量 (g)	954	612	947	821

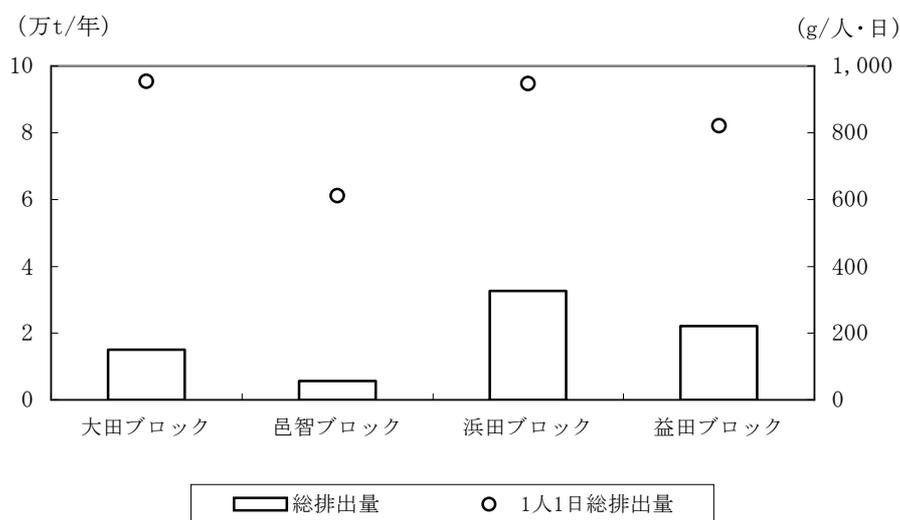


図1-5 ブロック別ごみ排出量

<隠岐地区>

①島後ブロック(西郷町, 布施村, 五箇村, 都万村)

可燃ごみ処理は、島後町村組合で行われている。

当ブロックの総排出量及び計画処理量は 7,997t であり、1 人 1 日総排出量は 1,218g と県平均の 961g を大きく上回っている。

②海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当町の総排出量は 909t, 計画処理量は 907t であり、1 人 1 日総排出量は 941g と県平均の 961g を下回っている。

③西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当町の総排出量は1,777t、計画処理量は1,870tであり、1人1日総排出量は1,302gと県平均の961gを大きく上回っている。

④知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当村の総排出量及び計画処理量は194tであり、1人1日総排出量は676gと県平均の961gを大きく下回っている。

表 1-5 ブロック別ごみ排出量と処理内訳

区 分	島後ブロック	海士町	西ノ島町	知夫村
総人口(人)	17,982	2,646	3,738	786
計画収集人口	17,982	2,646	3,738	786
自家処理人口	0	0	0	0
計画収集率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
総排出量(t/年)	7,997	909	1,777	194
計画収集量	3,573	433	1,189	156
直接搬入量	4,424	448	588	38
自家処理量	0	28	0	0
計画処理量(t/年)	7,997	907	1,870	194
焼却	6,661	685	1,482	121
焼却以外	1,038	129	34	16
直接埋立	298	93	354	57
1人1日総排出量 (g)	1,218	941	1,302	676

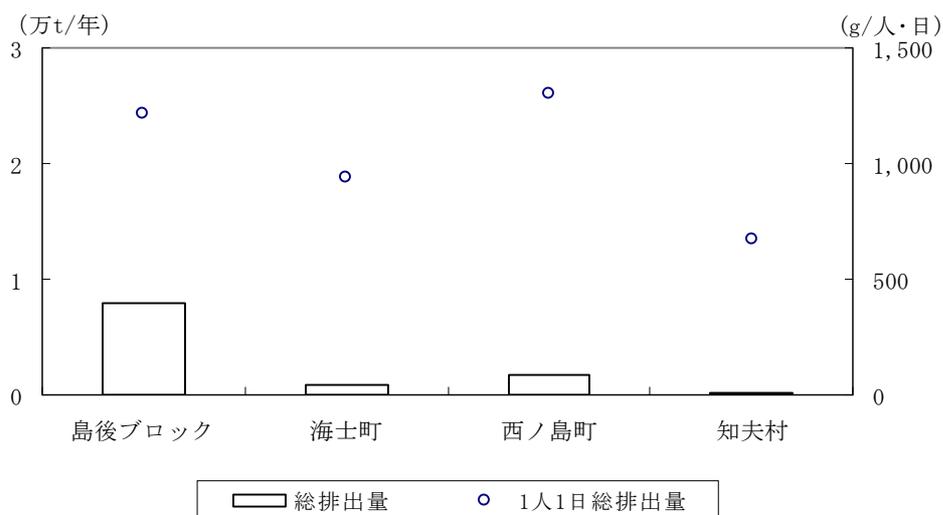


図1-6 ブロック別ごみ排出量

2. ごみの分別収集状況, 収集形態の状況

(1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1, ごみの収集内訳を図 2-1, ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

平成 14 年度に市町村が処理したごみ量は 253, 121t であった。その内、171, 478t (67.8%) は直接焼却され、70, 145t (27.7%) は破砕・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、11, 498t (4.5%) は直接埋立てられた。

県全体で 44, 708t (17.7%) がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 47, 462t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 70.0%, 不燃ごみ 11.9%, 資源ごみ 16.1%, その他 1.3%, 粗大ごみ 0.7% であった。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

県全体		平成14年度
計画収集量		225, 211
収	可 燃 ご み	157, 712
集	不 燃 ご み	26, 704
内	資 源 ご み	36, 255
訳	そ の 他	2, 941
	粗 大 ご み	1, 599
直 接 搬 入 量		32, 130
自 家 処 理 量		10, 534
総 排 出 量		267, 875
集 団 回 収 量		2, 754
処 理 内 訳	中 間 焼 却	171, 478
	中 間 焼 却 以 外	70, 145
	最 終 処 理	
	直 接 埋 立	11, 498
	焼 却 残 渣	20, 413
	破 砕 圧 縮	17, 558
資 源 化		44, 708
処 理 合 計		253, 121
資 源 化 率 (%)		17.7
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		961

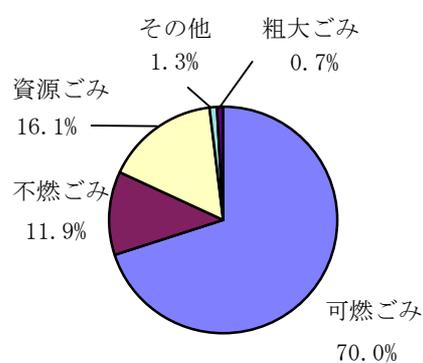


図2-1 ごみの収集内訳

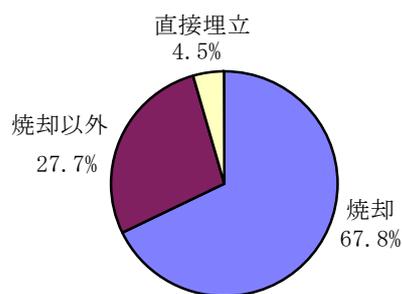


図2-2 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計

×100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) ブロック別の状況

<松江ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 74,400t であった。その内、51,531t(69.3%)は直接焼却され、20,777t(27.9%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、2,092t(2.8%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 12,248t(16.5%)がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 12,994t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 65.3%、不燃ごみ 15.1%、資源ごみ 18.5%、その他 0.1%、粗大ごみ 1.0%であった。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

松江ブロック		平成14年度
計画収集量		73,670
収 集 内 訳	可 燃 ご み	48,148
	不 燃 ご み	11,115
	資 源 ご み	13,663
	そ の 他	40
	粗 大 ご み	704
直接搬入量		5,273
自家処理量		1,807
総排出量		80,750
集団回収量		746
処 理 内 訳	中 間 焼 却	51,531
	焼 却 以 外	20,777
	最 終 直 接 埋 立	2,092
	処 焼 却 残 渣	7,342
	分 破 碎 圧 縮	8,089
	資 源 化	12,248
処 理 合 計		74,400
資 源 化 率 (%)		16.5
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,054

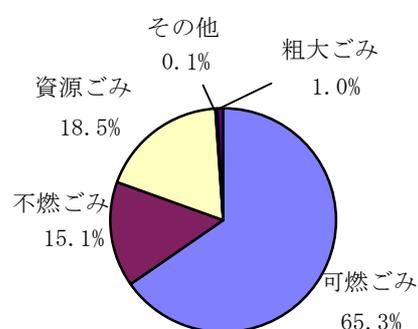


図2-3 ごみの収集内訳

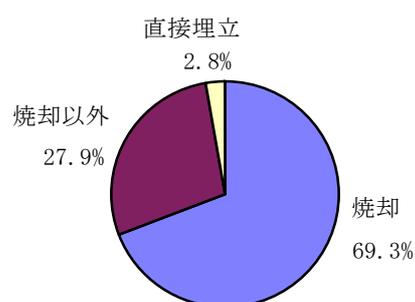


図2-4 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100
処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<安来ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-3、ごみの収集内訳を図 2-5、ごみの処理内訳を図 2-6 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 12,075t であった。その内、8,874t(73.5%)は直接焼却され、2,662t(22.0%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、539t(4.5%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 2,308t(19.1%)がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 2,571t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 73.4%，不燃ごみ 6.2%，資源ごみ 19.8%，粗大ごみ 0.6% であった。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

安来ブロック		平成14年度
計画収集量		10,382
収集内訳	可燃ごみ	7,619
	不燃ごみ	643
	資源ごみ	2,051
	その他	2
	粗大ごみ	67
直接搬入量		1,666
自家処理量		663
総排出量		12,711
集団回収量		263
処理内訳	中間焼却	8,874
	焼却以外	2,662
	最終処分	
	直接埋立	539
	焼却残渣	598
	破碎圧縮	250
資源化		2,308
処理合計		12,075
資源化率 (%)		19.1
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		761

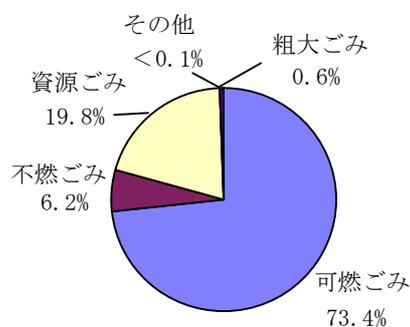


図2-5 ごみの収集内訳

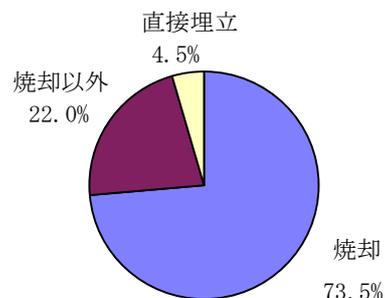


図2-6 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<仁多横田ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-4、ごみの収集内訳を図 2-7、ごみの処理内訳を図 2-8 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 5,062t であった。その内、3,430t(67.8%)は直接焼却され、1,549t(30.6%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、83t(1.6%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 630t(12.4%)がごみから分別・資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 77.4%，不燃ごみ 10.6%，資源ごみ 12.0%であった。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

仁多横田ブロック		平成14年度
計画収集量		3,880
収集内訳	可燃ごみ	3,005
	不燃ごみ	411
	資源ごみ	464
	その他	0
	粗大ごみ	0
直接搬入量		1,684
自家処理量		298
総排出量		5,862
集団回収量		0
処理内訳	中間焼却	3,430
	焼却以外	1,549
	最終処分	83
	焼却残渣	504
	破碎圧縮	919
資源化		630
処理合計		5,062
資源化率 (%)		12.4
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		954

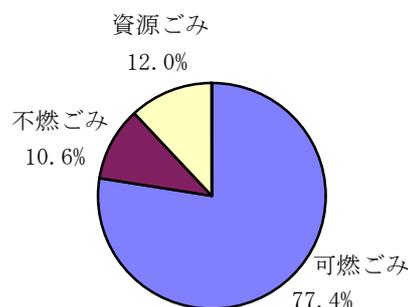


図2-7 ごみの収集内訳

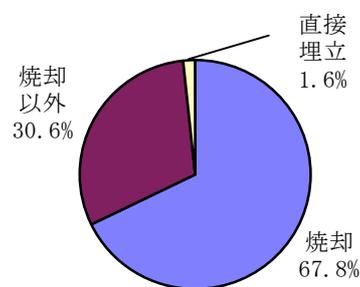


図2-8 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<加茂ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 10,322t であった。その内、9,759t(94.5%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、563t(5.5%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 4,067t(39.4%)がごみから分別・資源化(固形燃料を含む)された。集団回収量を含めると 4,330t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 74.4%、不燃ごみ 13.5%、資源ごみ 12.1%であった。

表2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

加茂ブロック		平成14年度
計画収集量		7,980
収 集 内 訳	可 燃 ご み	5,937
	不 燃 ご み	1,081
	資 源 ご み	962
	そ の 他	0
	粗 大 ご み	0
直 接 搬 入 量		2,203
自 家 処 理 量		871
総 排 出 量		11,054
集 団 回 収 量		263
処 理 内 訳	中 間 焼 却	0
	中 間 焼 却 以 外	9,759
	最 終 直 接 埋 立	563
	最 終 焼 却 残 渣	0
	最 終 破 碎 圧 縮	1,366
	資 源 化	4,067
処 理 合 計		10,322
資 源 化 率 (%)		39.4
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		749

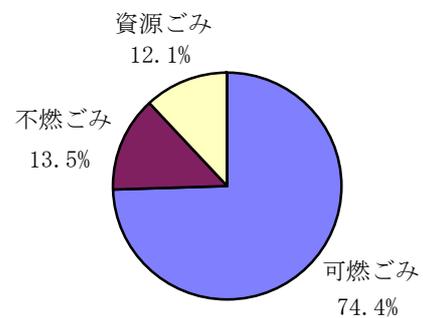


図2-9 ごみの収集内訳

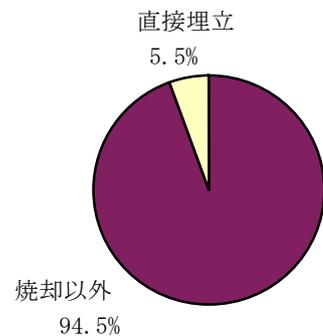


図2-10 ごみの処理内訳

計×100

処理合計=焼却+焼却以外+直接埋立

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合

<飯石ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-6、ごみの収集内訳を図 2-11、ごみの処理内訳を図 2-12 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 2,770t であった。その内、1,562t (56.4%)は直接焼却され、1,208t (43.6%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、直接埋立の量は零であった。

当ブロック全体で 289t (10.4%)ごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 340t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 82.2%，不燃ごみ 17.8%であった。

表2-6 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

飯石ブロック		平成14年度
計画収集量		2,576
収 集 内 訳	可 燃 ご み	2,117
	不 燃 ご み	459
	資 源 ご み	0
	そ の 他	0
	粗 大 ご み	0
直 接 搬 入 量		174
自 家 処 理 量		874
総 排 出 量		3,624
集 団 回 収 量		51
処 理 内 訳	中 間 焼 却	1,562
	中 間 焼 却 以 外	1,208
	最 終 直 接 埋 立	0
	最 終 焼 却 残 渣	154
	最 終 破 碎 圧 縮	229
	資 源 化	289
処 理 合 計		2,770
資 源 化 率 (%)		10.4
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		768

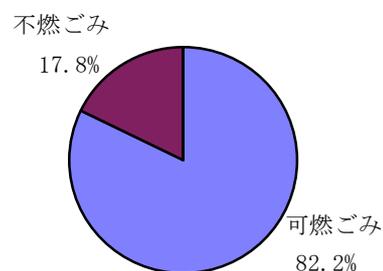


図2-11 ごみの収集内訳

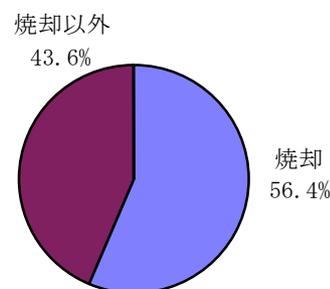


図2-12 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<出雲ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-7、ごみの収集内訳を図 2-13、ごみの処理内訳を図 2-14 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 66,071t であった。その内、46,933t(71.0%)は直接焼却され、13,408t(20.3%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、5,730t(8.7%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 10,351t(15.7%)がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 10,670t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 71.1%、不燃ごみ 9.8%、資源ごみ 13.8%、その他 5.1%、粗大ごみ 0.2%であった。

表2-7 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

出雲ブロック		平成14年度
計画収集量		57,387
収集内訳	可燃ごみ	40,811
	不燃ごみ	5,647
	資源ごみ	7,891
	その他	2,899
	粗大ごみ	139
直接搬入量		8,529
自家処理量		1,784
総排出量		67,700
集団回収量		319
処理内訳	中間焼却	46,933
	焼却以外	13,408
	最終処分	
	直接埋立	5,730
	焼却残渣	5,719
	破碎圧縮	1,666
資源化		10,351
処理合計		66,071
資源化率(%)		15.7
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,050

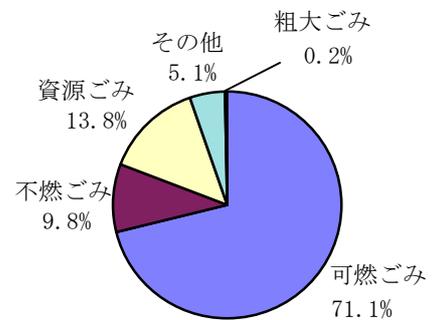


図2-13 ごみの収集内訳

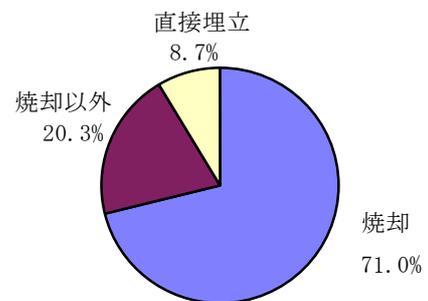


図2-14 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率(%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<大田ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-8、ごみの収集内訳を図 2-15、ごみの処理内訳を図 2-16 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 13,107t であった。その内、9,671t(73.8%)は直接焼却され、3,380t(25.8%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、56t(0.4%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 1,538t(11.7%)がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 1,957t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 76.1%，不燃ごみ 15.6%，資源ごみ 8.2%，粗大ごみ 0.1% であった。

表2-8 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

大田ブロック		平成14年度
計画収集量		11,237
収集内訳	可燃ごみ	8,540
	不燃ごみ	1,756
	資源ごみ	926
	その他	0
	粗大ごみ	15
直接搬入量		1,959
自家処理量		1,851
総排出量		15,047
集団回収量		419
処理内訳	中間焼却	9,671
	焼却以外	3,380
	最終処分	56
	焼却残渣	1,140
	破碎圧縮	1,805
資源化		1,538
処理合計		13,107
資源化率 (%)		11.7
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		954

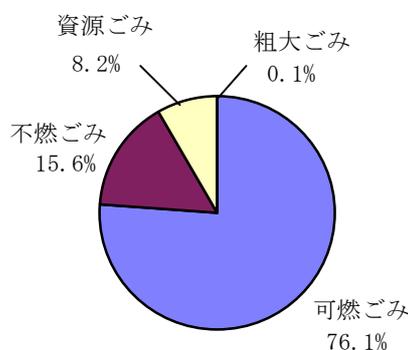


図2-15 ごみの収集内訳

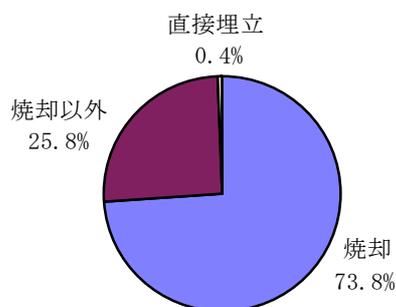


図2-16 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

< 邑智ブロック >

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-9、ごみの収集内訳を図 2-17、ごみの処理内訳を図 2-18 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 5,091t であった。その内、3,345t(65.7%)は直接焼却され、1,678t(33.0%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、68t(1.3%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 1,536t(30.2%)がごみから分別・資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 62.4%、不燃ごみ 2.9%、資源ごみ 31.6%、粗大ごみ 3.1% であった。

表2-9 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

邑智ブロック		平成14年度
計画収集量		3,903
収集内訳	可燃ごみ	2,436
	不燃ごみ	113
	資源ごみ	1,232
	その他	0
	粗大ごみ	122
直接搬入量		1,195
自家処理量		495
総排出量		5,593
集団回収量		0
処理内訳	中間焼却	3,345
	焼却以外	1,678
	最終処分	68
	直接埋立	307
	焼却残渣	102
	破碎圧縮	102
資源化		1,536
処理合計		5,091
資源化率 (%)		30.2
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		612

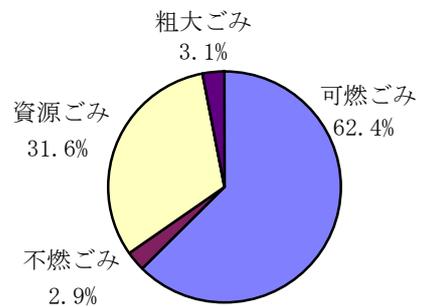


図2-17 ごみの収集内訳

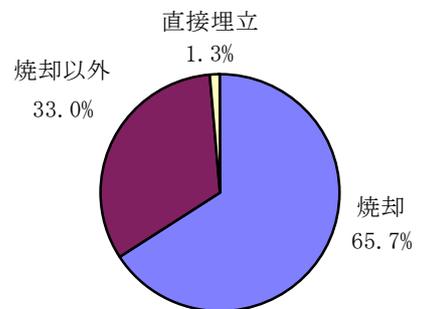


図2-18 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<浜田ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-10、ごみの収集内訳を図 2-19、ごみの処理内訳を図 2-20 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 31,514t であった。その内、21,826t (69.3%)は直接焼却され、9,649t (30.6%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、39t (0.1%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 6,378t (20.2%)がごみから分別・資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 69.1%、不燃ごみ 13.0%、資源ごみ 17.7%、粗大ごみ 0.2% であった。

表2-10 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

浜田ブロック		平成14年度
計画収集量		28,523
収 集 内 訳	可 燃 ご み	19,717
	不 燃 ご み	3,698
	資 源 ご み	5,059
	そ の 他	0
	粗 大 ご み	49
直 接 搬 入 量		2,649
自 家 処 理 量		1,386
総 排 出 量		32,558
集 団 回 収 量		0
処 理 内 訳	中 間 焼 却	21,826
	焼 却 以 外	9,649
	最 終 直 接 埋 立	39
	焼 却 残 渣	2,502
	破 碎 圧 縮	2,691
	資 源 化	6,378
処 理 合 計		31,514
資 源 化 率 (%)		20.2
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		947

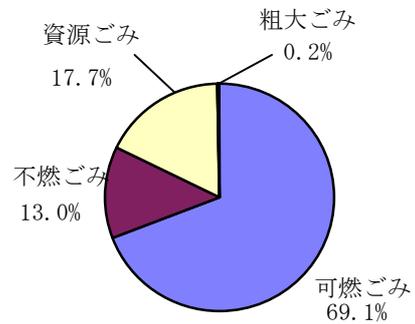


図2-19 ごみの収集内訳

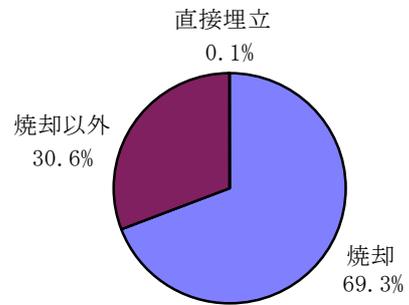


図2-20 ごみの処理内訳

計×100

処理合計=焼却+焼却以外+直接埋立

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

<益田ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-11、ごみの収集内訳を図 2-21、ごみの処理内訳を図 2-22 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 21,741t であった。その内、15,357t(70.7%)は直接焼却され、4,858t(22.3%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、1,526t(7.0%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 4,814t(22.1%)がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 5,507t が資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 71.6%，不燃ごみ 7.5%，資源ごみ 18.8%，粗大ごみ 2.1% であった。

表2-11 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

益田ブロック		平成14年度
計画収集量		20,322
収集内訳	可燃ごみ	14,557
	不燃ごみ	1,519
	資源ごみ	3,813
	その他	0
	粗大ごみ	433
直接搬入量		1,300
自家処理量		477
総排出量		22,099
集団回収量		693
処理内訳	中間焼却	15,357
	焼却以外	4,858
	最終処分	1,526
	焼却残渣	910
	破碎圧縮	19
資源化		4,814
処理合計		21,741
資源化率 (%)		22.1
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		821

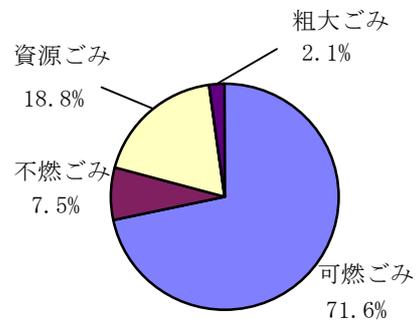


図2-21 ごみの収集内訳

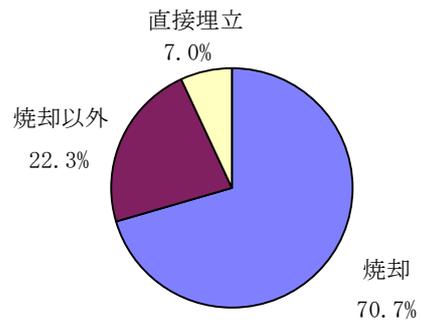


図2-22 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<島後ブロック>

当ブロックのごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-12、ごみの収集内訳を図 2-23、ごみの処理内訳を図 2-24 に示す。

平成 14 年度に当ブロック内で処理されたごみ量は 7,997t であった。その内、6,661t(83.3%)は直接焼却され、1,038t(13.0%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、298t(3.7%)は直接埋立てられた。

当ブロック全体で 438t(5.5%)がごみから分別・資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 89.9%，不燃ごみ 5.5%，資源ごみ 4.0%，粗大ごみ 0.6% であった。

表2-12 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

島後ブロック		平成14年度
計画収集量		3,573
収 集 内 訳	可 燃 ご み	3,213
	不 燃 ご み	195
	資 源 ご み	143
	そ の 他	0
	粗 大 ご み	22
直 接 搬 入 量		4,424
自 家 処 理 量		0
総 排 出 量		7,997
集 団 回 収 量		0
処 理 内 訳	中 間 焼 却	6,661
	中 間 焼 却 以 外	1,038
	最 終 直 接 埋 立	298
	最 終 焼 却 残 渣	969
	最 終 破 碎 圧 縮	384
	資 源 化	438
処 理 合 計		7,997
資 源 化 率 (%)		5.5
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,218

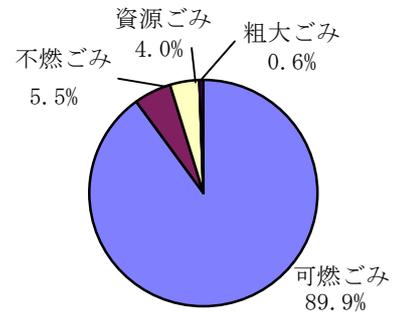


図2-23 ごみの収集内訳

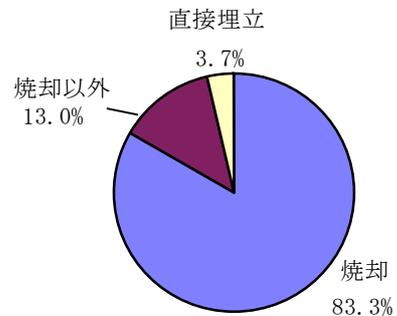


図2-24 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<海士町>

当町のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-13、ごみの収集内訳を図 2-25、ごみの処理内訳を図 2-26 に示す。

平成 14 年度に当町で処理されたごみ量は 907t であった。その内、685t (75.5%) は直接焼却され、129t (14.2%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、93t (10.3%) は直接埋立てられた。

当町で 86t (9.5%) がごみから分別・資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 93.3%，不燃ごみ 0.7%，資源ごみ 6.0% であった。

表2-13 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

海士町		平成14年度
計画収集量		433
収集内訳	可燃ごみ	404
	不燃ごみ	3
	資源ごみ	26
	その他	0
	粗大ごみ	0
直接搬入量		448
自家処理量		28
総排出量		909
集団回収量		0
処理内訳	中間焼却	685
	焼却以外	129
	最終直接埋立	93
	焼却残渣	113
	破碎圧縮	30
資源化		86
処理合計		907
資源化率 (%)		9.5
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		941

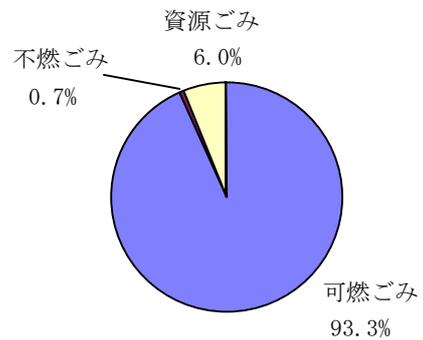


図2-25 ごみの収集内訳

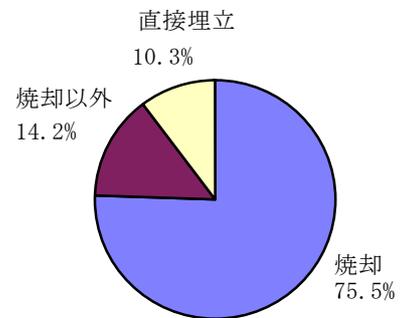


図2-26 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<西ノ島町>

当町のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-14、ごみの収集内訳を図 2-27、ごみの処理内訳を図 2-28 に示す。

平成 14 年度に当町で処理されたごみ量は 1,870t であった。その内、1,482t (79.3%) は直接焼却され、34t (1.8%) は破砕・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、354t (18.9%) は直接埋立てられた。

当町で 17t (0.9%) がごみから分別・資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 91.7%，不燃ごみ 4.5%，資源ごみ 1.4%，粗大ごみ 2.4% であった。

表2-14 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

西ノ島町		平成14年度
計画収集量		1,189
収集内訳	可燃ごみ	1,091
	不燃ごみ	53
	資源ごみ	17
	その他	0
	粗大ごみ	28
直接搬入量		588
自家処理量		0
総排出量		1,777
集団回収量		0
処理内訳	中間焼却	1,482
	焼却以外	34
	最終処分	354
	直接埋立	144
	焼却残渣	144
	破砕圧縮	0
資源化		17
処理合計		1,870
資源化率 (%)		0.9
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,302

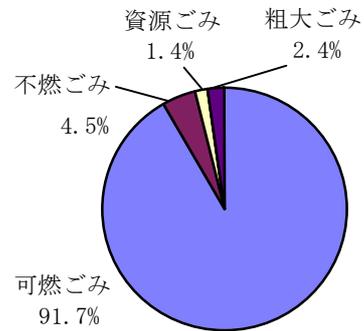


図2-27 ごみの収集内訳

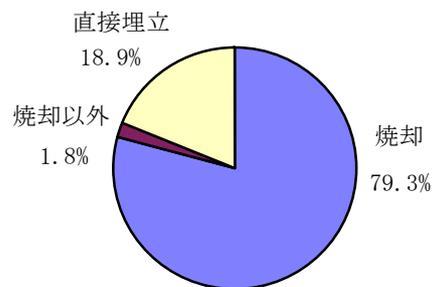


図2-28 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<知夫村>

当村のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-15、ごみの収集内訳を図 2-29、ごみの処理内訳を図 2-30 に示す。

平成 14 年度に当村で処理されたごみ量は 194t であった。その内、121t(62.4%)は直接焼却され、16t(8.2%)は破砕・圧縮等焼却以外の中間処理が行われ、57t(29.4%)は直接埋立てられた。

当村で 8t(4.1%)がごみから分別・資源化された。

ごみの収集内訳は、可燃ごみ 75.0%，不燃ごみ 7.1%，資源ごみ 5.1%，粗大ごみ 12.8% であった。

表2-15 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

(単位：t)

知夫村		平成14年度
計画収集量		156
収 集 内 訳	可 燃 ご み	117
	不 燃 ご み	11
	資 源 ご み	8
	そ の 他	0
	粗 大 ご み	20
直 接 搬 入 量		38
自 家 処 理 量		0
総 排 出 量		194
集 団 回 収 量		0
処 理 内 訳	中 間 焼 却	121
	中 間 焼 却 以 外	16
	最 終 直 接 埋 立	57
	最 終 焼 却 残 渣	11
	最 終 破 砕 圧 縮	8
	資 源 化	8
処 理 合 計		194
資 源 化 率 (%)		4.1
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		676

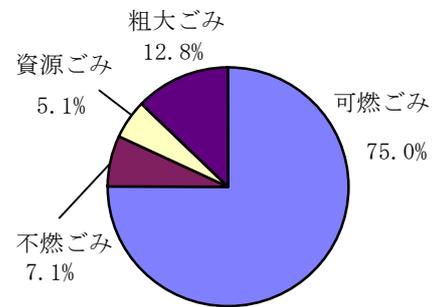


図2-29 ごみの収集内訳

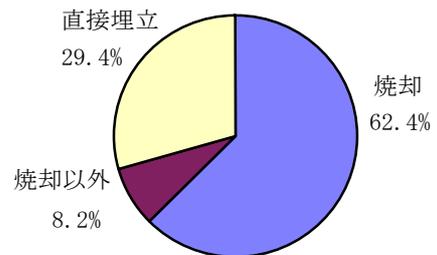


図2-30 ごみの処理内訳

注) ごみの資源化率 (%) = 資源化量 / 処理合計 × 100

計 × 100

処理合計 = 焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

3. ごみ処理施設の状況

(1) 全県の状況

平成 14 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1, 2 に示す。

県内の焼却施設数（ごみ燃料化施設を含む）は 14 施設(処理能力 944.6 t/日)である。

可燃ごみを焼却施設まで搬入するための中継施設数は 2 施設, 資源化等施設数は 28 施設, 粗大ごみ処理施設数は 8 施設, 保管施設数は 15 施設である。

埋立中の最終処分場は 37 施設あり、処理能力（全体容量）は 2,183,211m³, 残余容量は 1,033,397m³となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設※1	14	944.6	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	28	344.97	—
粗大ごみ処理施設	8	169	—
保管施設	15	11,542 (t/年度)※2	—
最終処分場	37	2,183,211 (m ³)	1,033,397 (m ³)

※1 平田市、佐田町、宍道町斐川町環境衛生組合、飯石郡町村事務組合、赤来町頓原町環境衛生組合、大田市外 2 町広域行政組合の焼却施設は、平成 14 年 11 月までの稼働であり、12 月以降は稼働していない。

※2 保管施設の処理能力は、平成 14 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却			ガス化溶融 (キルン式)	ごみ燃料化	合計
	全連続	准連続	バッチ式			全連続
炉型式	3	2	7	1	1	14
施設数	3	2	7	1	1	14
規模 (t/日)	410	127	159.6	218	30	944.6

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3, 4に示す。

当ブロックのごみ焼却施設数は2施設(処理能力312.5t/日)で、共に全連続運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は9施設、保管施設数は4施設である。

埋立中の最終処分場は10施設あり、処理能力(全体容量)は919,452m³、残余容量は297,653m³となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設※1	2	312.5	—
資源化等の施設	9	175	—
保管施設	4	7,942(t/年度)※2	—
最終処分場	10	919,452(m ³)	297,653(m ³)

※1 宍道町斐川町環境衛生組合の焼却施設は、平成14年11月までの稼働であり、12月以降は稼働していない。

※2 保管施設の処理能力は、平成14年度保管量である。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江地区 広域行政組合	南工場	112.5	焼却	全連続
	北工場	200	焼却	全連続

②安来ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-5, 6に示す。

当ブロックのごみ焼却施設数は1施設(処理能力52t/日)で、准連続運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は2施設、粗大ごみ処理施設数は1施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、処理能力(全体容量)は99,304m³、残余容量は63,233m³となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	52	—
資源化等の施設	2	20	—
粗大ごみ処理施設	1	20	—
最終処分場	3	99,304 (m ³)	63,233 (m ³)

表3-6 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来能義 広域行政組合	清瀬クリーンセンター	52	焼却	准連続

<出雲地区>

①仁多横田ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-7, 8 に示す。

当ブロックのごみ焼却施設数は 1 施設 (処理能力 20 t/日) で、バッチ式運転による焼却を行っている。

粗大ごみ処理施設数は 1 施設, 保管施設数は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力 (全体容量) は 31, 360m³, 残余容量は 23, 883 m³となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力 (t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	20	—
粗大ごみ処理施設	1	7	—
保管施設	1	164 (t/年度) [※]	—
最終処分場	1	31, 360 (m ³)	23, 883 (m ³)

※保管施設の処理能力は、平成 14 年度保管量である。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
仁多町横田町 広域事務組合	仁多可燃物 処理センター	20	焼却	バッチ式

②加茂ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-9, 10 に示す。

当ブロックでは、ごみ燃料化施設で可燃ごみ処理を行っている。

資源化等施設数は 4 施設、保管施設数は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、処理能力(全体容量)は 64,700m³、残余容量は 23,911 m³となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設※1	1	30	—
資源化等の施設	4	16.2	—
保管施設	1	442 (t/年度)※2	—
最終処分場	4	64,700 (m ³)	23,911 (m ³)

※1 ここでのごみ焼却施設は、ごみ燃料化施設のことである。

※2 保管施設の処理能力は、平成 14 年度保管量である。

表3-10 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
加茂町外三町清掃組合	雲南エネルギーセンター	30	ごみ燃料化

③飯石ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-11、12 示す。

当ブロックの可燃ごみ処理は、いいしクリーンセンター(中継施設)において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設数は1施設，保管施設数は2施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、処理能力(全体容量)は14,525m³，残余容量は1,041 m³となっている。

表3-11 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設※1	0	0	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	1	12	—
保管施設	2	125 (t/年度)※2	—
最終処分場	1	14,525 (m ³)	1,041 (m ³)

※1 飯石郡町村事務組合、赤来町頓原町環境衛生組合の焼却施設は、平成14年11月までの稼働であり、12月以降は稼働していない。

※2 保管施設の処理能力は、平成14年度保管量である。

表3-12 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
飯石郡町村事務組合	いいしクリーンセンター	15	圧縮・梱包

④出雲ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-13、14に示す。

当ブロックのごみ焼却施設数は2施設(処理能力293t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)及び准連続運転による焼却が行われている。

資源化等施設数は2施設、粗大ごみ処理施設数は3施設、保管施設数は2施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、処理能力(全体容量)は528,231m³、残余容量は410,983m³となっている。

表3-13 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設※1	2	293	—
資源化等の施設	2	75	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	2	800(t/年度)※2	—
最終処分場	4	528,231(m ³)	410,983(m ³)

※1 平田市、佐田町の焼却施設は、平成14年11月までの稼働であり、12月以降は稼働していない。

※2 保管施設の処理能力は、平成14年度保管量である。

表3-14 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市外6市町 広域事務組合	神西清掃工場	75	焼却	准連続
	出雲 エネルギーセンター	218	ガス化溶融 (キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-15, 16 示す。

当ブロックの可燃ごみ処理は、一般廃棄物運搬中継・中間処理施設(中継施設)において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設数は 3 施設、粗大ごみ処理施設数は 1 施設、保管施設数は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、処理能力(全体容量)は 112,648m³、残余容量は 42,259 m³となっている。

表3-15 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設※1	0	0	—
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	3	11	—
粗大ごみ処理施設	1	25	—
保管施設	2	107 (t/年度)※2	—
最終処分場	3	112,648 (m ³)	42,259 (m ³)

※1 大田市外 2 町広域行政組合の焼却施設は、平成 14 年 11 月までの稼働であり、12 月以降は稼働していない。

※2 保管施設の処理能力は、平成 14 年度保管量である。

表3-16 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市外 2 町 広域行政組合	一般廃棄物運搬 中継・中間処理施設	45	圧縮・梱包

② 邑智ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-17, 18 に示す。

当ブロックのごみ焼却施設数は 1 施設 (処理能力 12 t / 日) で、バッチ式運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は 1 施設, 保管施設数は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力 (全体容量) は 14,300m³, 残余容量は 11,500 m³となっている。

表3-17 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力 (t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	5	—
保管施設	1	1,536 (t/年度)*	—
最終処分場	1	14,300 (m ³)	11,500 (m ³)

*保管施設の処理能力は、平成 14 年度保管量である。

表3-18 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
邑智郡町村 総合事務組合	笹畑クリーンセンター ごみ焼却処理施設	12	焼却	バッチ式

③浜田ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-19, 20 に示す。

当ブロックのごみ焼却施設数は 1 施設 (処理能力 84 t / 日) で、バッチ式運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は 2 施設, 粗大ごみ処理施設数は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、処理能力 (全体容量) は 136, 200m³, 残余容量は 39, 357 m³となっている。

表3-19 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力 (t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	84	—
資源化等の施設	2	10.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場	3	136,200 (m ³)	39,357 (m ³)

表3-20 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域行政組合	浜田清掃第一処理場	84	焼却	バッチ式

④益田ブロック

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-21, 22 に示す。

当ブロックのごみ焼却施設数は 1 施設 (処理能力 97.5 t/日) で、全連続運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は 2 施設, 保管施設数は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、処理能力 (全体容量) は 153, 771m³, 残余容量は 22, 018 m³となっている。

表3-21 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力 (t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	97.5	—
資源化等の施設	2	17	—
保管施設	2	375 (t/年度) [※]	—
最終処分場	2	153, 771 (m ³)	22, 018 (m ³)

※保管施設の処理能力は、平成 14 年度保管量である。

表3-22 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
益田地区広域市町村圏 事務組合	益田清掃工場	97.5	焼却	全連続

<島後ブロック>

当ブロックのごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-23, 24 に示す。

当ブロックのごみ焼却施設数は 1 施設 (処理能力 25 t /日) で、バッチ式運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は 1 施設ある。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力 (全体容量) は 80,000m³, 残余容量は 76,529 m³となっている。

表3-23 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力 (t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	25	—
資源化等の施設	1	2	—
最終処分場	1	80,000 (m ³)	76,529 (m ³)

表3-24 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
島後町村組合	島後清掃センター	25	焼却	バッチ式

<海士町>

当町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-25, 26 に示す。

当町のごみ焼却施設数は 1 施設 (処理能力 7t/日) で、バッチ式運転による焼却を行っている。

資源化等施設数は 1 施設, 保管施設数は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力 (全体容量) は 12,000m³, 残余容量は 10,203 m³となっている。

表3-25 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力 (t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
保管施設	1	51 (t/年度)*	—
最終処分場	1	12,000 (m ³)	10,203 (m ³)

*保管施設の処理能力は、平成 14 年度保管量である。

表3-26 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町清掃センター	7	焼却	バッチ式

<西ノ島町>

当町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-27, 28 に示す。

当町のごみ焼却施設数は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ式運転による焼却を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力（全体容量）は 13,000m³、残余容量は 10,557 m³となっている。

表3-27 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	10	—
最終処分場	1	13,000 (m ³)	10,557 (m ³)

表3-28 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	清美苑	10	焼却	バッチ式

<知夫村>

当村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-29, 30 に示す。

当村のごみ焼却施設数は 1 施設（処理能力 1.6t/日）で、バッチ式運転による焼却を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、処理能力（全体容量）は 3,720m³、残余容量は 270 m³となっている。

表3-29 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量
ごみ焼却施設	1	1.6	—
最終処分場	1	3,720 (m ³)	270 (m ³)

表3-30 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知夫村	知夫村焼却場	1.6	焼却	バッチ式

4. ごみ減量化・資源化状況

(1) 全県の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

平成14年度に市町村が資源化したごみ量は44,708tであった。その内、紙類が25,656t(57.4%)で最も多く、次に、金属類8,414t(18.8%)、その他4,634t(10.4%)であった。

また、集団回収により集められたごみ量は2,754tであり、紙類が2,461t(89.4%)とほとんどを占めた。

表4-1 資源化の状況

区分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	25,656	8,414	3,203	327	1,830	644	4,634	44,708
集団回収	2,461	35	177	0	0	81	0	2,754

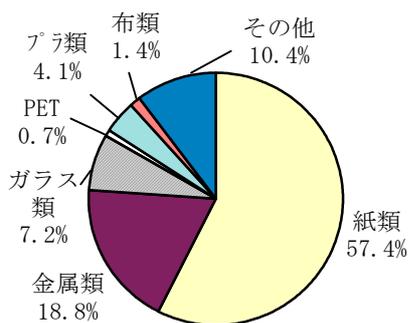


図4-1 市町村による資源化の内訳

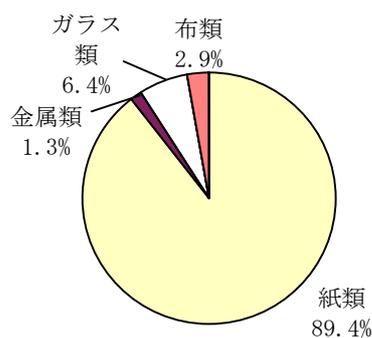


図4-2 集団回収の内訳

(2) ブロック別の状況

<松江ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-2、市町村による資源化の内訳を図 4-3、集団回収の内訳を図 4-4 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 12,248t であった。その内、紙類が 8,705t(71.2%)で最も多く、次に、金属類 1,300t(10.6%)、その他 897t(7.3%)であった。

また、集団回収により集められたごみ量は 746t であり、紙類が 705t(94.6%)とほとんどを占めた。

表4-2 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	8,705	1,300	321	50	468	507	897	12,248
集団回収	705	7	30	0	0	4	0	746

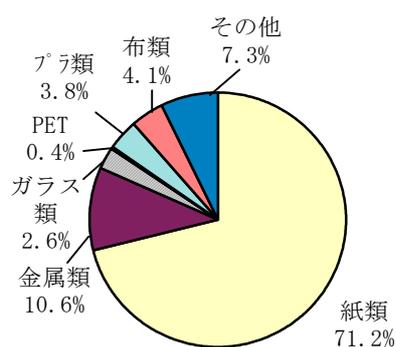


図4-3 市町村による資源化の内訳

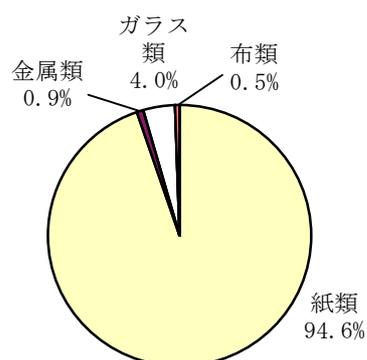


図4-4 集団回収の内訳

<安来ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-3、市町村による資源化の内訳を図 4-5、集団回収の内訳を図 4-6 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 2,308t であった。その内、紙類が 1,118t (48.3%) で最も多く、次に金属類 412t (17.9%)、ガラス類 324t (14.0%) であった。

また、集団回収により集められたごみ量は 263t であり、紙類が 205t (77.9%) とほとんどを占めた。

表4-3 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	1,118	412	324	71	295	22	66	2,308
集団回収	205	2	37	0	0	19	0	263

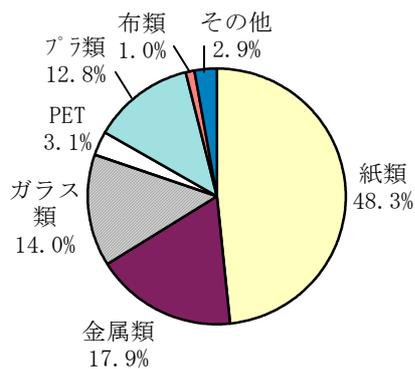


図4-5 市町村による資源化の内訳

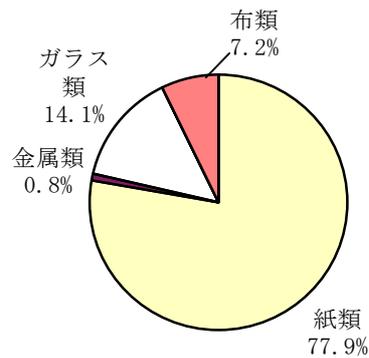


図4-6 集団回収の内訳

<仁多横田ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-4、市町村による資源化の内訳を図 4-7 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 630t であった。その内、紙類が 444t (70.5%) で最も多く、次に金属類 165t (26.2%)、布類 21t (3.3%) であった。

集団回収は行われていない。

表4-4 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	444	165	0	0	0	21	0	630
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	0

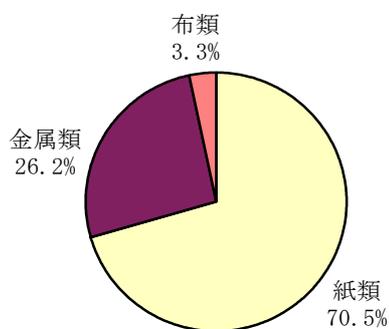


図4-7 市町村による資源化の内訳

<加茂ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-8、集団回収の内訳を図 4-9 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 4,067t であった。その内、その他が 2,862t (70.4%) で最も多く、次に金属類 536t (13.2%), 紙類 497t (12.2%) であった。

なお、その他の大半は、ごみ燃料化施設からの固形燃料である。

また、集団回収により集められたごみ量は 263t であり、紙類が 241t (91.6%) とほとんどを占めた。

表4-5 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	497	536	0	0	172	0	2,862	4,067
集団回収	241	0	0	0	0	22	0	263

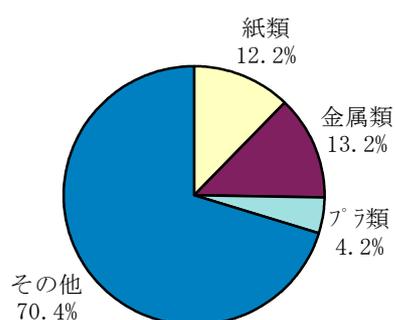


図4-8 市町村による資源化の内訳

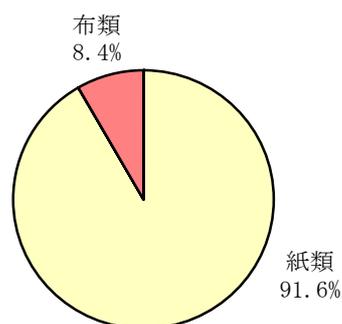


図4-9 集団回収の内訳

<飯石ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-6、市町村による資源化の内訳を図 4-10、集団回収の内訳を図 4-11 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 289t であり、すべて金属類であった。

また、集団回収により集められたごみ量は 51t であり、すべて紙類であった。

表4-6 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	0	289	0	0	0	0	0	289
集団回収	51	0	0	0	0	0	0	51

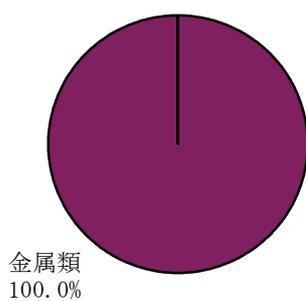


図4-10 市町村による資源化の内訳

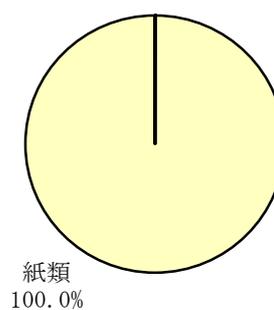


図4-11 集団回収の内訳

<出雲ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-7、市町村による資源化の内訳を図 4-12、集団回収の内訳を図 4-13 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 10,351t であった。その内、紙類が 7,302t(70.6%)で最も多く、次に金属類 2,202t(21.3%)、ガラス類 707t(6.8%)であった。

また、集団回収により集められたごみ量は 319t であり、紙類が 314t(98.4%)とほとんどを占めた。

表4-7 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	7,302	2,202	707	0	0	22	118	10,351
集団回収	314	5	0	0	0	0	0	319

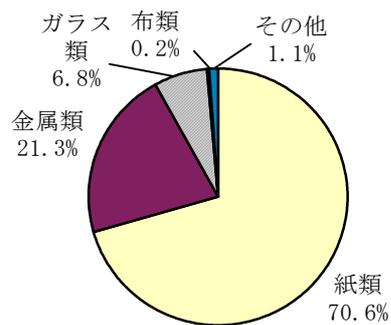


図4-12 市町村による資源化の内訳

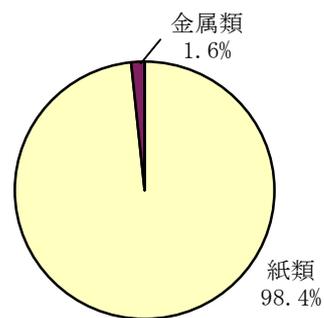


図4-13 集団回収の内訳

<大田ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-8, 市町村による資源化の内訳を図 4-14, 集団回収の内訳を図 4-15 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 1,538t であった。その内、金属類が 665t (43.2%) で最も多く、次に紙類 646t (42.0%), ガラス類 123t (8.0%) であった。

また、集団回収により集められたごみ量は 419t であり、紙類が 396t (94.5%) とほとんどを占めた。

表4-8 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	646	665	123	24	16	54	10	1,538
集団回収	396	1	0	0	0	22	0	419

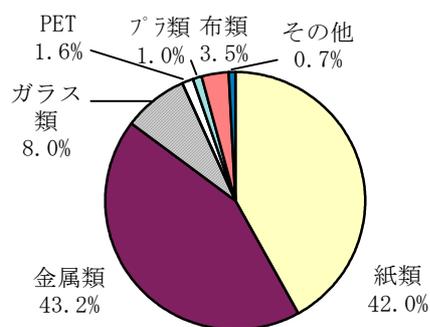


図4-14 市町村による資源化の内訳

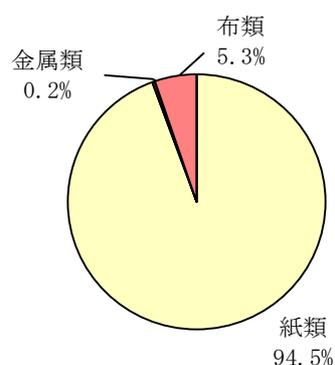


図4-15 集団回収の内訳

< 邑智ブロック >

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-9, 市町村による資源化の内訳を図 4-16 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 1,536t であった。その内、紙類が 1,010t (65.7%) で最も多く、次に金属類 295t (19.2%), ガラス類 213t (13.9%) であった。

集団回収は行われていない。

表4-9 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	1,010	295	213	0	0	0	18	1,536
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	0

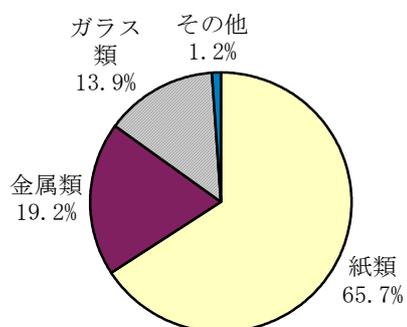


図 4-16 市町村による資源化の内訳

<浜田ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-10, 市町村による資源化の内訳を図 4-17 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 6,378t であった。その内、紙類が 3,478t (54.5%) で最も多く、次に金属類 1,587t (24.9%), ガラス類 668t (10.5%) であった。

集団回収は行われていない。

表4-10 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	3,478	1,587	668	47	574	0	24	6,378
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	0

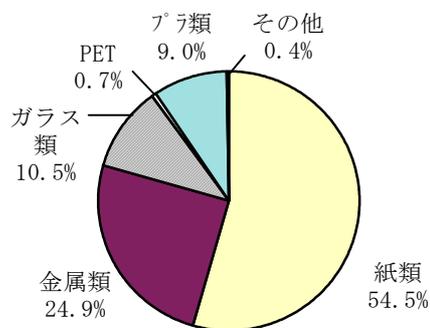


図4-17 市町村による資源化の内訳

<益田ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-11、市町村による資源化の内訳を図 4-18、集団回収の内訳を図 4-19 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 4,814t であった。その内、紙類が 2,439t (50.6%) で最も多く、次にガラス類 745t (15.5%)、その他 639t (13.3%) であった。

また、集団回収により集められたごみ量は 693t であり、紙類 549t (79.2%) とほとんどを占めた。

表4-11 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	2,439	549	745	119	305	18	639	4,814
集団回収	549	20	110	0	0	14	0	693

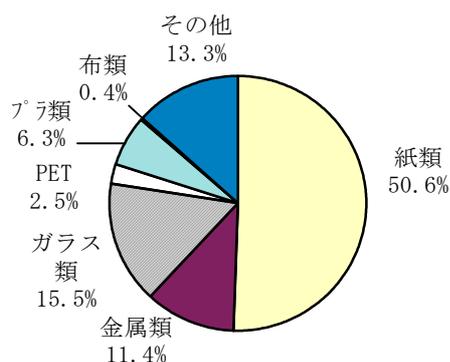


図4-18 市町村による資源化の内訳

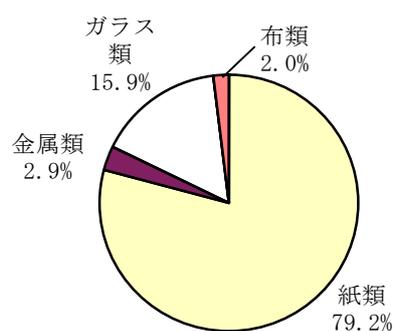


図4-19 集団回収の内訳

<島後ブロック>

当ブロックにおける資源化の状況を表 4-12, 市町村による資源化の内訳を図 4-20 に示す。

平成 14 年度に当ブロックの市町村が資源化したごみ量は 438t であった。その内、金属類が 337t (76.9%) で最も多く、次にガラス類 68t (15.5%), 紙類 17t (3.9%) であった。

集団回収は行われていない。

表4-12 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	17	337	68	16	0	0	0	438
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	0

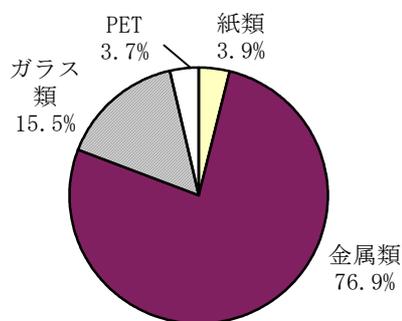


図4-20 市町村による資源化の内訳

<海士町>

平成 14 年度に当町が資源化したごみ量は 86t であり、その内訳は金属類 68 t, ガラス類 18t であった。

集団回収は行われていない。

表4-13 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	0	68	18	0	0	0	0	86
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	0

<西ノ島町>

平成 14 年度に当町が資源化したごみ量は 17t であり、その内訳は金属類 6t, ガラス類 11t であった。

集団回収は行われていない。

表4-14 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	0	6	11	0	0	0	0	17
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	0

<知夫村>

平成 14 年度に当村が資源化したごみ量は 8t であり、その内訳は金属類 3t, ガラス類 5t であった。

集団回収は行われていない。

表4-15 資源化の状況

区 分	紙類	金属類	ガラス類	PET	プラ類	布類	その他	計 (t/年)
市町村	0	3	5	0	0	0	0	8
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	0

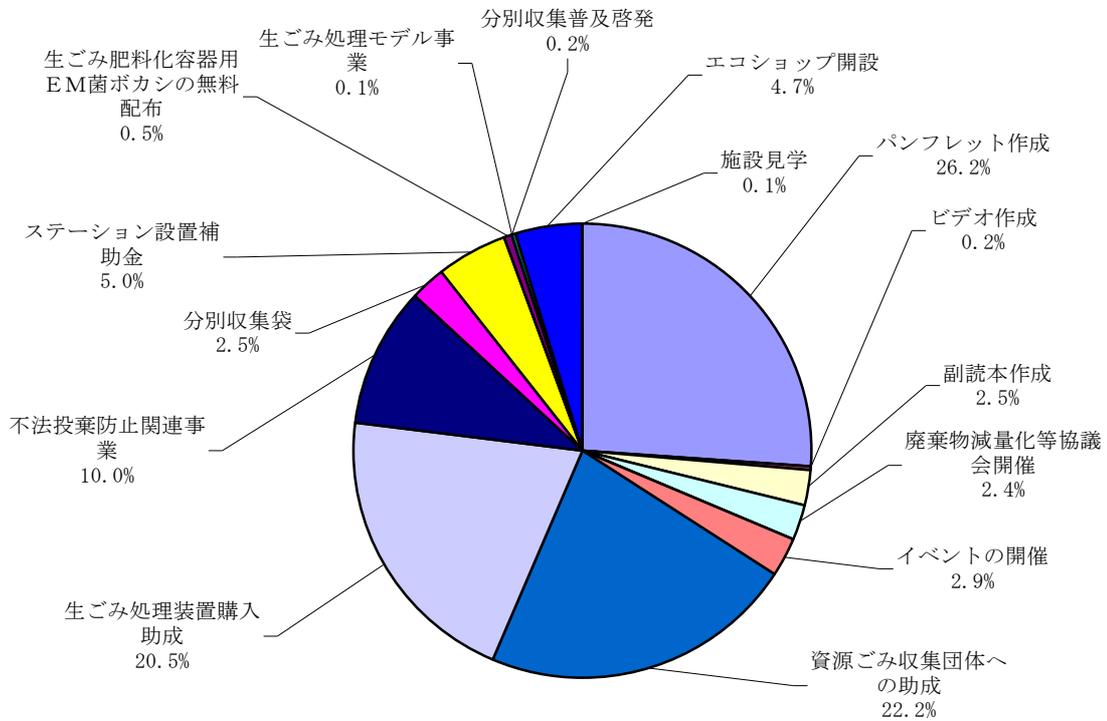
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

平成15年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について、表5-1～2、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表5-3～7、生ごみ処理機等の購入に対する助成について表5-8～10、事業予定額の内訳(市町村)について図5-1に示す。

市町村の廃棄物減量化に対する施策として、パンフレットの作成、廃棄物減量化等協議会開催、イベントの開催及び不法投棄防止関連事業が多く行われている。

住民支援措置としては、資源ごみ団体回収への助成及び生ごみ堆肥化装置の設置補助を多くの市町村が行っており、全体の約40%を占める。

組合では、平成15年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業を行っている組合数は少なく、市町村主体で取り組まれていることが伺える。



注) : 生ごみ堆肥化装置の設置補助額は実績。

図5-1 平成15年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予定額の内訳(市町村)

表5-1 平成15年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業(市町村)

事業類型	事業名	市町村数	当初予算額(千円)
啓発資料作成等	パンフレット作成	27	22,443
	ビデオ作成	2	200
	副読本作成	2	2,138
イベント等の開催	リサイクルバザーの開催	5	28
	イベントの開催	20	2,498
	施設見学	1	100
	エコショップの開設	1	4,000
ごみ減量化に関する助成	廃棄物減量化等協議会開催	10	2,053
	資源ごみ団体回収への助成	16	19,020
	生ごみ処理モデル事業	1	80
	資源ごみ回収機器の貸出	3	0
	生ごみ堆肥化装置の設置助成	38	17,562
啓発事業等	不法投棄防止事業	19	8,568
分別収集促進事業	分別収集袋作成・配布	1	2,110
	ステーション設置補助金	3	4,330
	生ごみ肥料化容器用EM菌ボカシの無料配布	1	426
	分別収集普及啓発	1	192

注) : 生ごみ堆肥化装置の設置補助額は実績。

表5-2 平成15年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業(組合)

事業類型	事業名	組合数	当初予算費(千円)
啓発資料作成等	パンフレット作成	2	3,300
イベント等の開催	イベントの開催	1	1,600
ごみ減量化に関する助成	廃棄物減量化等協議会開催	1	100
分別収集推進事業	分別収集袋作成・配布	1	8,647

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 15 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	20/30/45ℓ		炭カル10%入り高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(緑)	30/45ℓ		低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45ℓ		低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	緑	800×700mm	約 16.6 円	無公害性指向ポリエチレン
	〃	〃	650×550mm	約 13.3 円	〃
	〃	青	500×400mm	6 円	〃
出雲市	可燃	半透明(白)	25/45ℓ	20/40 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(黄・赤)	25/45ℓ	20/40 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	25/45ℓ	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(茶)	800×600/420mm	15 円	無公害性指向ポリエチレン中低圧加工品(活性フェノキソ付)
	〃	〃	600×400mm	11 円	〃
安来市	可燃	半透明(青)	45ℓ	15.5 円	高密度ポリエチレン
	不燃・資源	透明	15/30/45ℓ	10/15/16.5 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	黄	15/30/45ℓ	15/20/30 円	高密度ポリエチレン袋(活性フェノキソ付)
平田市	可燃	半透明(白)	800×650×0.04mm	40 円	高密度ポリエチレン
	〃	〃	600×500×0.04mm	30 円	〃
	不燃(プラ)	透明	800×650×0.02mm	40 円	低密度ポリエチレン
	不燃(金物)	〃	800×650×0.05mm	〃	〃
鹿島町	可燃	半透明(茶)	20/30ℓ	36/54 円	フェノキソ付3%配合高密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45ℓ	15/22 円	低密度ポリエチレン
島根町	可燃	半透明(白)	30ℓ	50 円	高密度ポリエチレン(水酸化アルミニウム入り)
	不燃	半透明(黄・青)	30ℓ	50 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	45ℓ	50 円	低密度ポリエチレン
美保関町	可燃	半透明(白)	15/30ℓ	30/60 円	水酸化アルミニウム入りポリエチレン
	不燃・資源	透明	35ℓ	20 円	高密度ポリエチレン
東出雲町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	40/60 円	フェノキソ付入り高密度ポリエチレン
	不燃・資源	透明	45ℓ	60 円	低密度ポリエチレン
八雲村	可燃	半透明(黄)	30ℓ	52 円	フェノキソ付入りポリエチレン
	不燃・資源	透明	30/45ℓ	31/52 円	低密度ポリエチレン
玉湯町	可燃	白	25/30ℓ	115/138 円	水酸化アルミニウム入りポリエチレン
	不燃	透明	20/40ℓ	20/35 円	ビニール
	資源	透明	30/45ℓ	20/35 円	低密度ポリエチレン
宍道町	可燃(大)	半透明(白)	45ℓ	40 円	高密度ポリエチレン
	〃(小)	半透明(黄)	20ℓ	20 円	〃
	不燃・資源	透明	20/45ℓ	50/100 円	低密度ポリエチレン
八束町	可燃	半透明	20/35ℓ	16/21 円	水酸化アルミニウム入りポリエチレン
	不燃	透明	35ℓ	21 円	ポリエチレン
	資源	透明	35/45ℓ	21 円	ポリエチレン
広瀬町	可燃	半透明	800×680mm	60 円	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
	不燃・資源	半透明	800×600mm	60 円	高密度ポリエチレン
伯太町	可燃	半透明(黄)	800×650mm	55 円	高密度ポリエチレン(フェノキソ付入り)
	〃	〃	600×450mm	45 円	〃
	不燃	透明	800×650mm	55 円	低密度ポリエチレン
	〃	〃	600×450mm	45 円	〃
仁多町	可燃	半透明	800×650mm	10.7 円	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤)	800×650mm	14.8 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(青)	800×650mm	14.8 円	低密度ポリエチレン
横田町	可燃	半透明	30/45ℓ	10.7 円	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(青)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
大東町	可燃	半透明(黄)	20/40ℓ	29.4/42 円	フェノキソ付入り高密度ポリエチレン
加茂町	可燃(平型)	半透明(黄)	20/40ℓ	26/38 円	フェノキソ付入りポリエチレン
	〃(手さげ型)	〃	〃	28/40 円	〃
木次町	可燃(封筒型)	半透明(茶)	20/40ℓ	27.3/39.9 円	タライキシン抑制剤配合ポリエチレン
	〃(買物袋型)	〃	〃	29.4/42 円	〃

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 15 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
三刀屋町	可燃	茶	900×550mm	29.4 円	ダ イオキシン抑制剤配合ポ リエチレン
	〃	〃	750×550mm	42 円	〃
	不燃(大)	透明	800×600mm	52.5 円	ポ リエチレン
	〃 (小)	〃	600×400mm	31.5 円	〃
吉田村	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63 円	フェロキサイト入り 高密度ポ リエチレン
	不燃	半透明(青)	45ℓ	42 円	フェロキサイト入り 高密度ポ リエチレン
	資源	半透明(緑)	45ℓ	42 円	フェロキサイト入り 高密度ポ リエチレン
掛合町	可燃	半透明(茶)	30/45ℓ	42/63 円	フェロキサイト入りポ リエチレン
	不燃	半透明(青)	45ℓ	42 円	ポ リエチレン
	資源	半透明(緑)	45ℓ	42 円	ポ リエチレン
頓原町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63 円	フェロキサイト入りポ リエチレン
	不燃	半透明(青)	45ℓ	63 円	高密度ポ リエチレン
	資源	半透明(緑)	45ℓ	63 円	高密度ポ リエチレン
赤来町	可燃	半透明(橙)	45ℓ	63 円	フェロキサイト入り 炭酸カポ リエチレン
	不燃	半透明(青)	45ℓ	42 円	フェロキサイト入り 炭酸カポ リエチレン
	資源	半透明(緑)	45ℓ	42 円	フェロキサイト入り 炭酸カポ リエチレン
斐川町	可燃	白・赤	600×500mm	20 円	
	〃	〃	800×650mm	40 円	
	不燃	透明	600×500mm	20 円	
	〃	〃	800×650mm	30 円	
佐田町	可燃(大)	白	850×500×150 mm	50 円	高密度ポ リエチレン
	〃 (小)	〃	550×400×120 mm	30 円	〃
	不燃	半透明(緑・赤)	850×500×200 mm	50 円	低密度ポ リエチレン
	資源	透明・半透明(青)	850×500×200 mm	20 円	低密度ポ リエチレン
多伎町	可燃	半透明(白)	800×650mm	34.4 円	高密度ポ リエチレン
	資源	透明	800×500mm	34.4 円	低密度ポ リエチレン
湖陵町	可燃	半透明(白)	20/40ℓ	30/50 円	高密度ポ リエチレン
	〃	シール(白)		50 円	
	不燃	破碎(黄)・埋立(赤)	40ℓ	50 円	低密度ポ リエチレン
	〃	シール(黄・赤)		50 円	
	資源	透明	40ℓ	20 円	低密度ポ リエチレン
大社町	可燃	半透明(白)	800×650 mm	40 円	高密度ポ リエチレン
	〃	〃	600×500 mm	20 円	〃
	〃	シール		40 円	
	不燃	透明	700×550 mm	50 円	低密度ポ リエチレン
	資源	透明	800×650 mm	無料	低密度ポ リエチレン
温泉津町	不燃	半透明	30ℓ	49 円	高密度ポ リエチレン
	資源	半透明	20/30ℓ	29/39 円	高密度ポ リエチレン
仁摩町	不燃	透明	45ℓ	50 円	高密度ポ リエチレン
	資源	透明(赤・青・緑)	45ℓ	50 円	高密度ポ リエチレン
川本町	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60 円	高密度ポ リエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30 円	高密度ポ リエチレン
	資源	半透明(白)	25/45ℓ	15 円	高密度ポ リエチレン
邑智町	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60 円	高密度ポ リエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30 円	高密度ポ リエチレン
	資源	半透明(白)	25/45ℓ	15 円	高密度ポ リエチレン
大和村	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60 円	高密度ポ リエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30 円	高密度ポ リエチレン
	資源(ビ ン)	半透明(白)	25ℓ	15 円	高密度ポ リエチレン
	資源(カ ン)	〃	45ℓ	〃	〃
羽須美村	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60 円	高密度ポ リエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30 円	高密度ポ リエチレン
	資源	半透明(白)	25/45ℓ	15 円	高密度ポ リエチレン
瑞穂町	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60 円	高密度ポ リエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30 円	高密度ポ リエチレン
	資源	半透明(白)	25/45□	15 円	高密度ポ リエチレン

表5-5 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 15 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
石見町	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(白)	25/45ℓ	15 円	高密度ポリエチレン
桜江町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	80/100 円	フェロキサイト入りポリエチレン
	不燃	シール		50 円	
金城町	可燃	茶	620×500 mm	50 円	フェロキサイト入りポリエチレン
	不燃	透明	900×600 mm	50 円	低密度ポリエチレン
	〃	シール		〃	
	資源	半透明(缶・ビン)・(PET・プラ)	750×600 mm	30 円	高密度ポリエチレン
旭町	可燃	半透明(青)	830×550 mm	63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	830×610 mm	87 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明	830×550 mm	64 円	高密度ポリエチレン
弥栄村	可燃	半透明(青)	800×380/550×0.03 mm	60 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄)	800×380/550×0.04 mm	60 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(桃)	800×380/550×0.04 mm	60 円	高密度ポリエチレン
	〃	半透明(黄)	700×500×0.06 mm	〃	低密度ポリエチレン
	〃	半透明(緑)	800×490/650×0.03 mm	〃	〃
三隅町	可燃	半透明	700×500 mm	80 円	高密度ポリエチレン
	〃	〃	500×350 mm	40 円	〃
	不燃・資源	半透明	800×500 mm	30 円	高密度ポリエチレン
	〃	〃	500×350 mm	15 円	〃
美都町	可燃	半透明	800×500/630 mm	30 円	ポリエチレン
	〃	〃	600×450/500 mm	24 円	〃
	不燃	半透明	900×500 mm	100 円	ポリエチレン
匹見町	可燃	茶	12ℓ	25 円	再生紙
	資源	透明	30ℓ	25 円	低密度ポリエチレン
津和野町	可燃	橙	20/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
	資源(容包プラ)	桃	20/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
	(商品プラ)	黄	〃	〃	〃
	(缶・鉄)	透明	〃	〃	低密度ポリエチレン
日原町	可燃	半透明	30/45ℓ	9.9/12.5 円	中低圧ポリエチレン
	資源	半透明	45ℓ	無料	中低圧ポリエチレン
柿木村	可燃	半透明(茶)	800×600 mm	45 円	フェロキサイト入りポリエチレン
	〃	〃	600×400 mm	40 円	〃
	資源	半透明(白)	800×650 mm	無料	高密度ポリエチレン
六日市町	可燃	赤	800×600 mm	50 円	
	〃	〃	650×500 mm	33.3 円	
西郷町	可燃・不燃	チケット	10 kg以内	80 円	
	資源	半透明(青)	850×800 mm	無料	高密度ポリエチレン
布施村	可燃・不燃	チケット	10 kg以内	80 円	
	資源	半透明(青)	850×800 mm	無料	高密度ポリエチレン
五箇村	可燃・不燃	チケット	10 kg以内	80 円	
	資源	半透明(青)	850×800 mm	無料	高密度ポリエチレン
都万村	可燃・不燃	チケット	10 kg以内	80 円	
	資源	半透明(青)	850×800 mm	無料	高密度ポリエチレン
海士町	可燃	茶	650×370 mm	60 円	紙(塗料)
	不燃	チケット		60 円	
	資源	半透明(黄)	800×650 mm	60 円	ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町	可燃・不燃	チケット	10 kg程度	71 円	ごみ袋, ダンボール箱
知夫村	可燃	半透明(茶)	600×400 mm	70 円	活性フェロキサイト入り
	〃	〃	300/400×300 mm	20/40 円	〃
	不燃	赤・緑		60/70/1,000 円	
	資源	半透明	600×400 mm	60 円	活性フェロキサイト入り
〃	〃	400×300 mm	30 円	〃	

表5-6 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成 15 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値段	材 質
				1 枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	20/30/45 l		炭カル10%入り高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄)	30/45 l		低密度ポリエチレン
浜田市	可燃・不燃・資源	黄	800×700mm	約 16.6 円	無公害性指向ポリエチレン
出雲市	可燃	半透明(白)	45 l	100 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(黄・赤)	45 l	100 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(黄)	800×600/420mm	30 円	無公害性指向ポリエチレン中低圧加工品(活性フェロキサイト入り)
安来市	可燃	半透明(青)	45 l	15.5 円	高密度ポリエチレン(シール)
	不燃・資源	透明	15/30/45 l	10/15/16.5 円	低密度ポリエチレン(シール)
江津市	可燃・不燃	黄	15/30/45 l	15/20/30 円	高密度ポリエチレン袋(活性フェロキサイト)
平田市	可燃	半透明(黄)	800×650×0.04mm	100 円	高密度ポリエチレン
	不燃(ﾌﾟﾗ)	半透明(黄)	800×650×0.02mm	100 円	低密度ポリエチレン
	不燃(金物)	〃	800×650×0.05mm	〃	〃
玉湯町	可燃	チケット(緑)		345 円	
	不燃・資源	チケット(黄)		300 円	
八束町	可燃	半透明	20/35 l	16/21 円	水酸化アルミニウム入りポリエチレン
	不燃	透明	35 l	21 円	ポリエチレン
	資源	透明	35/45 l	21 円	ポリエチレン
仁多町	可燃	半透明	650×800mm	10.7 円	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤)	650×800mm	14.8 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(青)	650×800mm	14.8 円	低密度ポリエチレン
横田町	可燃	半透明	30/45 l	10.7 円	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤)	45 l	14.8 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(青)	45 l	14.8 円	低密度ポリエチレン
大東町	可燃	半透明(黄)	20/40 l	29.4/42 円	フェロキサイト入り高密度ポリエチレン
木次町	可燃(封筒型)	半透明(茶)	20/40 l	27.3/39.9 円	ダ イキシン抑制剤配合ポリエチレン
	〃(買 い物袋型)	〃	〃	29.4/42 円	〃
三刀屋町	可燃(大)	茶	550×900mm	42 円	ダ イキシン抑制剤配合ポリエチレン
	〃(小)	〃	550×750mm	29.4 円	〃
	不燃(大)	透明	600×800mm	52.5 円	ポリエチレン
	〃(小)	〃	400×600mm	31.5 円	〃
吉田村	可燃	半透明(黄)	30/45 l	42/63 円	フェロキサイト入り高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	45 l	42 円	フェロキサイト入り高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	45 l	42 円	フェロキサイト入り高密度ポリエチレン
掛合町	可燃	半透明(茶)	30/45 l	42/63 円	フェロキサイト入りポリエチレン
嶺原町	可燃	半透明(黄)	30/45 l	42/63 円	フェロキサイト入りポリエチレン
	不燃	半透明(青)	45 l	63 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	45 l	63 円	高密度ポリエチレン
佐田町	可燃	茶	500×850×150 mm	100 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(緑・赤)	500×850×200 mm	50 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明・半透明(青)	500×850×200 mm	20 円	低密度ポリエチレン
多伎町	可燃	半透明(白)	650×800mm	34.4 円	高密度ポリエチレン
	資源	透明	500×800mm	34.4 円	低密度ポリエチレン
湖陵町	可燃	半透明(白)	20/40 l	30/50 円	高密度ポリエチレン
	〃	シール(白)		50 円	
	不燃	破碎(黄)・埋立(赤)	40 l	50 円	低密度ポリエチレン
	〃	シール(黄・赤)		50 円	
大社町	可燃	半透明(白)	800×650mm	90 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	700×600mm	150 円	低密度ポリエチレン
温泉津町	不燃	半透明	30 l	49 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明	20/30 l	29/39 円	高密度ポリエチレン
仁摩町	不燃	透明	45 l	50 円	高密度ポリエチレン
	資源	透明(赤・青・緑)	45 l	50 円	高密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白)	10/25/45 l	15/30/60 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25 l	30 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(白)	25/45 l	15 円	高密度ポリエチレン

表5-7 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成15年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
邑智町	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(白)	25/45ℓ	15円	高密度ポリエチレン
大和村	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30円	高密度ポリエチレン
	資源(ビソ)	半透明(白)	25ℓ	15円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	〃	45ℓ	〃	〃
羽須美村	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(白)	25/45ℓ	15円	高密度ポリエチレン
瑞穂町	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(白)	25/45ℓ	15円	高密度ポリエチレン
石見町	可燃	半透明(白)	10/25/45ℓ	15/30/60円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	30円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(白)	25/45ℓ	15円	高密度ポリエチレン
金城町	可燃	茶	620×500mm	50円	フェロサイト入りポリエチレン
	不燃	透明	900×600mm	50円	低密度ポリエチレン
	〃	シール	〃	〃	〃
	資源	半透明(缶・ビソ)・(PET・プラ)	750×600mm	30円	高密度ポリエチレン
旭町	可燃	半透明(青)	830×550mm	63円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	830×610mm	87円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明	830×550mm	64円	高密度ポリエチレン
弥栄村	可燃	半透明(青)	800×380/550×0.03mm	60円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄)	800×380/550×0.04mm	60円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(桃)	800×380/550×0.04mm	60円	高密度ポリエチレン
	〃	半透明(黄)	700×500×0.06mm	〃	低密度ポリエチレン
	〃	半透明(緑)	800×490/650×0.03mm	〃	〃
匹見町	可燃	茶	12ℓ	25円	再生紙
	資源	透明	30ℓ	25円	低密度ポリエチレン
津和野町	可燃	橙	900×700mm	130円	高密度ポリエチレン
	資源(容包プラ)	桃	20/45ℓ	30/50円	高密度ポリエチレン
	(商品プラ)	黄	〃	〃	〃
	(缶・鉄)	透明	〃	〃	低密度ポリエチレン
日原町	可燃	半透明	30/45ℓ	9.9/12.5円	中低圧ポリエチレン
	資源	半透明	45ℓ	無料	中低圧ポリエチレン
柿木村	可燃	半透明(茶)	800×600mm	45円	フェロサイト入りポリエチレン
	〃	〃	600×400mm	40円	〃
	資源	半透明(白)	800×650mm	無料	高密度ポリエチレン
六日市町	可燃	赤	800×600mm	50円	
	〃	〃	650×500mm	33.3円	
西郷町	可燃・不燃	チケツト	100kg以内	500円	
	資源	チケツト	〃	無料	
布施村	可燃・不燃	チケツト	100kg以内	500円	
	資源	チケツト	〃	無料	
五箇村	可燃・不燃	チケツト	100kg以内	500円	
	資源	チケツト	〃	無料	
都万村	可燃・不燃	チケツト	100kg以内	500円	
	資源	チケツト	〃	無料	
海士町	可燃	茶	370×650mm	60円	紙(塗料)
	不燃	チケツト		60円	
	資源	半透明(黄)	650×800mm	60円	ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町	可燃	チケツト	10kg程度	71円	ごみ袋, ダンボール箱

表5-8 生ごみ処理機等の購入に対する助成(平成15年度)

市町村名	補助基準	備 考
松江市	補助率 1/3、上限 10 千円	
浜田市	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/2、上限 10 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
出雲市	補助率 1/2、上限 30 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり2基まで)
益田市	補助率 1/3、上限 10 千円	コンポスト
大田市	補助率 1/2、上限 3 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり2基まで)
安来市	なし	
江津市	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
平田市	補助率 1/2 補助率 1/2、上限 16 千円 補助率 1/2	コンポスト(1世帯当たり1基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで) ボカシ容器(1世帯当たり2基まで)
鹿島町	上限 3 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(100ℓ以上のもの/1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
島根町	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
美保関町	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/2、上限 15 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
東出雲町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 10 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
八雲村	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 15 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
玉湯町	なし	
宍道町	補助率 1/2、上限 10 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
八束町	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
広瀬町	なし	
伯太町	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 20 千円(1基目) 10 千円(2基目)	コンポスト 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり2基まで)

表5-9 生ごみ処理機等の購入に対する助成(平成15年度)

市町村名	補助基準	備 考
仁多町	補助率 1/2、上限 10 千円	電気式生ごみ処理機
横田町	補助率 1/2、上限 3 千円	コンポスト
	補助率 1/2、上限 10 千円	電気式生ごみ処理機
大東町	補助率 1/3、上限 10 千円	コンポスト
		電気式生ごみ処理機
加茂町	補助率 1/3、上限 20 千円	生ごみ減量機器
木次町	なし	
三刀屋町	なし	
吉田村	なし	
掛合町	なし	
頓原町	なし	
赤来町	なし	
斐川町	補助率 1/2、上限 5 千円	コンポスト (18ℓ以上のもの)
	補助率 1/2、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機
佐田町	補助率 1/2、上限 2 千円	コンポスト
	補助率 1/2、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機
多伎町	補助率 1/2、上限 20 千円	1 世帯当たり 3 基まで
湖陵町	補助率 1/2	コンポスト
	補助率 1/2	ボカシ容器
	補助率 1/2、上限 30 千円	電気式生ごみ処理機 (1 世帯当たり 2 基まで)
大社町	補助率 1/2、上限 20 千円	1 世帯当たり 3 基まで
温泉津町	なし	
仁摩町	なし	
川本町	補助率 1/2、上限 3 千円	コンポスト (1 世帯当たり 2 基まで)
	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機 (1 世帯当たり 1 基まで)
邑智町	補助率 1/2、上限 3 千円	コンポスト (1 世帯当たり 3 基まで)
	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機 (1 世帯当たり 1 基まで)
大和村	なし	

表5-10 生ごみ処理機等の購入に対する助成(平成15年度)

市町村名	補助基準	備 考
羽須美村	補助率 1/2、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機
瑞穂町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/2、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
石見町	なし	
桜江町	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
金城町	補助率 1/2、上限 2 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
旭町	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機
弥栄村	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機
三隅町	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機
美都町	なし	
匹見町	補助率 1/2、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機
津和野町	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
日原町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(130ℓ及び200ℓのもの/一世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
柿木村	補助率 1/2、上限 30 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
六日市町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/2、上限 20 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
西郷町	なし	
布施村	なし	
五箇村	なし	
都万村	なし	
海士町	なし	
西ノ島町	なし	
知夫村	なし	

6. し尿処理の概要

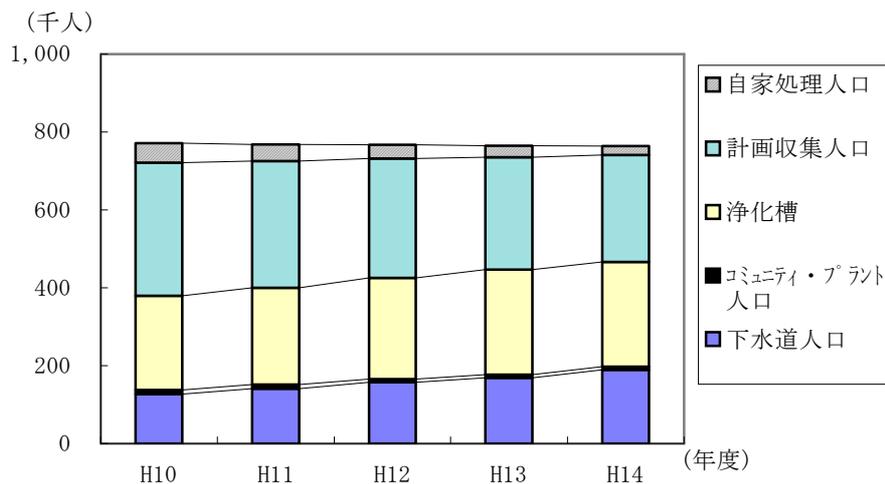
(1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び発生量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 14 年度における県内の水洗化人口は、466,174 人(61%)、非水洗化人口は、297,648 人(39%)である。水洗化人口は前年より約 4%増加し、また、平成 10 年度と比べると約 23%増加している。

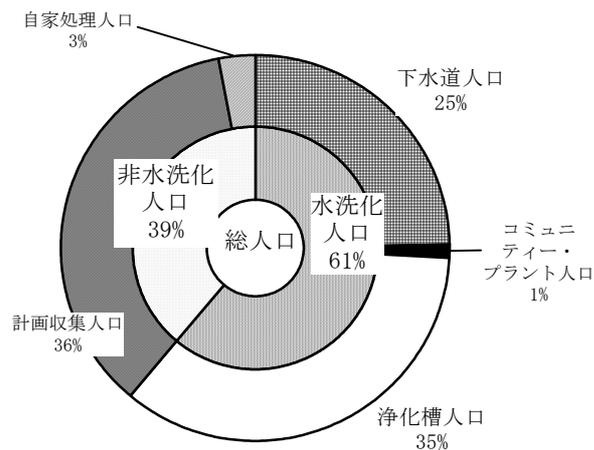
表6-1 し尿の処理人口及び発生量

	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
総人口(人)	771,640	768,496	767,571	764,909	763,822
水洗化人口(人)	379,336	399,989	425,347	446,192	466,174
下水道人口(人)	127,130	141,223	157,173	168,888	188,950
コミュニティ・プラント人口(人)	10,362	10,365	8,272	8,418	8,605
浄化槽人口(人)	241,844	248,401	259,902	268,886	268,619
非水洗化人口(人)	392,304	368,507	342,224	318,717	297,648
計画収集人口(人)	342,121	325,992	306,792	289,631	275,240
自家処理人口(人)	50,183	42,515	35,432	29,086	22,408
総発生量(kℓ/年)	351,430	354,441	340,967	342,890	335,170
計画収集量(kℓ/年)	200,425	196,897	187,605	184,739	174,813
自家処理量(kℓ/年)	29,460	27,748	20,530	18,535	14,934
浄化槽汚泥量(kℓ/年)	121,545	129,796	132,832	139,616	145,423



注) 総人口=水洗化人口+非水洗化人口
 水洗化人口=公共下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口
 非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口=水洗化人口+非水洗化人口
 水洗化人口=公共下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口
 非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、発生量の内訳を図6-3に示す。

平成14年度における県内の発生量は、335,170kℓで、前年より約2%減少している。

内訳は計画収集量が最も多く53%で、次いで浄化槽汚泥量が43%、自家処理量4%となっている。

し尿の1人1日当たり排出量は1.75ℓ/人・日、し尿浄化槽汚泥収集量は1.48ℓ/人・日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分	平成14年度
発生量 (kℓ/年)	335,170
計画収集量	174,813
自家処理量	14,934
浄化槽汚泥量	145,423
処理量 (kℓ/年)	174,813
下水道投入	124
し尿処理施設	174,246
農村還元	443
1日1人当たりし尿収集量 (ℓ/人・日)	1.74
1日1人当たりし尿排出量 (ℓ/人・日)	1.75
1日1人当たりし尿浄化槽汚泥収集量 (ℓ/人・日)	1.48

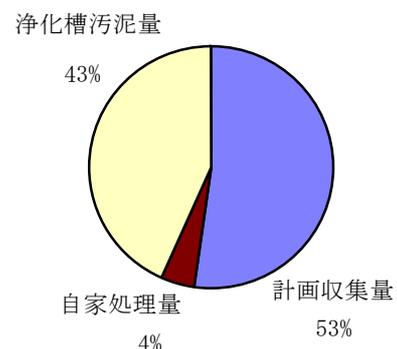


図6-3 発生量の内訳

注) 処理量に汚泥量は含まず。

発生量 (kℓ/年) = 計画収集量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥量

1人1日当たりし尿収集量 (ℓ/人・日) = 計画収集量 / 計画収集人口 / 365日 × 10³

1人1日当たりし尿排出量 (ℓ/人・日) = (計画収集量 + 自家処理量) / 非水洗化人口 / 365日 × 10³

1人1日当たりし尿浄化槽汚泥収集量 (ℓ/人・日) = 浄化槽汚泥量 / 浄化槽人口 / 365日 × 10³

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3, 浄化槽の設置状況を表 6-4, 浄化槽設置基数の推移を図 6-4 に示す。

平成 14 年度の県内のし尿処理施設数は 12 施設（処理能力 844kl/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 10 施設（計画最大汚水量 3,269m³/日）である。

浄化槽設置数は合計 76,067 基で、去年より 866 基増加している。

平成 14 年度の浄化槽設置基数は 911 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設					合計	コミュニティ・プラント
	好 消	好二段	高負荷	標 準	膜分離		
施 設 数	0	1	7	2	2	12	10
規 模 (kl/日)	0	40	538	117	149	844	3,269

注1) 好消……好気性消化・活性汚泥処理方式 好二段…好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式
 高負荷…高負荷脱窒素処理方式 標準……標準脱窒素処理方式(旧低二段)
 膜分離…膜分離処理方式

注2) コミュニティ・プラントの規模は、計画最大汚水量で、単位は、m³/日である。

表6-4 浄化槽の設置状況

区 分	浄 化 槽 設 置 基 数				合計
規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	
設置数	74,376	1,460	133	98	76,067

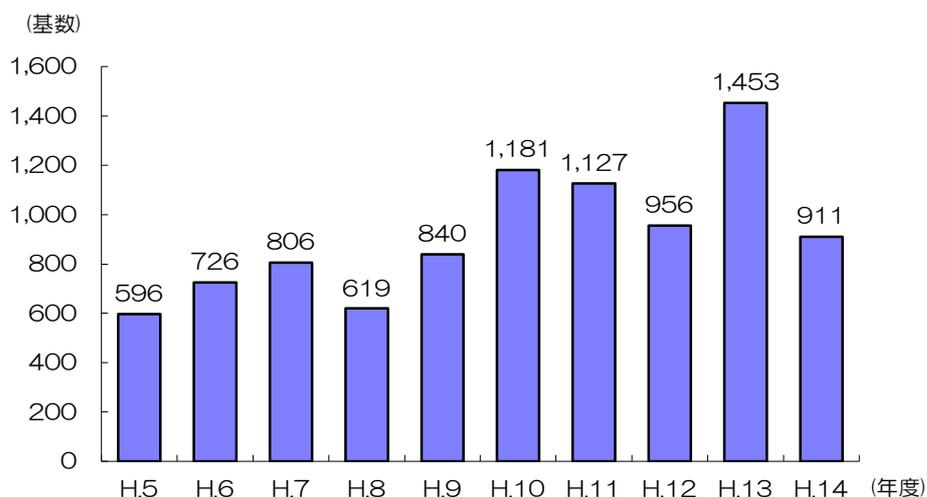


図6-4 浄化槽の設置基数の推移

7. 一般廃棄物処理事業の実態

7-1 廃棄物処理事業経費の概要

(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県内の市町村における廃棄物処理事業経費の歳入の内訳を表 7-1, 歳出の内訳を表 7-2, 廃棄物処理経費の内訳を図 7-1, ごみ処理の歳入を図 7-2, し尿処理の歳入を図 7-3 に示す。

平成 14 年度の市町村における廃棄物処理事業経費の総額は 12,274,120 千円であり、前年より約 6%減少している。経費の内訳はごみ処理が 10,316,092 千円, し尿処理が 1,958,028 千円である。

事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入, 歳出の内訳(表 7-3, 4)は、ごみ処理が 14,324,128 千円, し尿処理が 5,083,235 千円, 総額 19,407,363 千円である。

(2) ブロック別のごみ処理事業経費の概要

ブロック別におけるごみ処理経費(市町村)の歳入の内訳を表 7-5, 歳出の内訳を表 7-6, ブロック別におけるごみ処理経費(事務組合)の歳入, 歳出の内訳を表 7-7, 8 に示す。

ブロック別におけるごみ処理経費(市町村)は、松江ブロックが 3,497,451 千円と最も多く、次いで益田ブロック, 出雲ブロックと続く(表 7-5, 6)。また、ごみ処理経費(事務組合)は、出雲ブロック(出雲市外 6 市町広域事務組合)が 4,628,266 千円と最も多く、次いで松江ブロック(松江地区広域行政組合, 宍道町斐川町環境衛生組合), 大田ブロック(大田市外 2 町広域行政組合)と続く(表 7-7, 8)。

なお、宍道町斐川町環境衛生組合の廃棄物事業経費は、松江ブロックに含めた。

表7-1 歳入の内訳(市町村)

(平成14年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	その他		
ごみ	249,134	9,152	1,137,200	869,562	21,929	8,029,115	10,316,092
し尿	0	0	0	239,392	2,879	1,715,757	1,958,028
計	249,134	9,152	1,137,200	1,108,954	24,808	9,744,872	12,274,120

表7-2 歳出の内訳(市町村)

(平成14年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費									その他	合計
	工事費			調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費	組合 分担金	その他	小計		
	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費							
ごみ	899,109	561,745	6,143	9,975	1,076,171	2,553,143	1,529,801	149,468	334,201	135,113	47,621	1,769,600	3,595,662	52,015	7,613,481	149,468	10,316,092
し尿	0	0	0	0	234,184	234,184	56,157	1,574	45,090	0	8,505	244,561	1,333,662	27,027	1,716,576	7,268	1,958,028
計	899,109	561,745	6,143	9,975	1,310,355	2,787,327	1,585,958	151,042	379,291	135,113	56,126	2,014,161	4,929,324	79,042	9,330,057	156,736	12,274,120

64

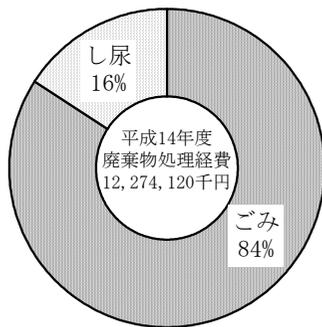


図7-1 廃棄物処理経費

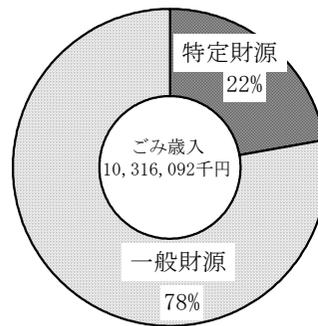


図7-2 ごみ処理の歳入

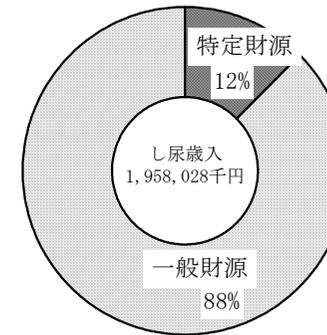


図7-3 し尿処理の歳入

表7-3 歳入の内訳(事務組合)

(平成14年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	市町村 分担金	その他		
ごみ	2,244,736	515	6,572,433	383,616	4,671,833	379,951	71,044	14,324,128
し尿	933,564	0	2,292,900	218,128	1,588,557	7,808	42,278	5,083,235
計	3,178,300	515	8,865,333	601,744	6,260,390	387,759	113,322	19,407,363

表7-4 歳出の内訳(事務組合)

(平成14年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費					処理及び維持管理費								その他	合計
	工事費			調査費	小計	人件費	処理費			車輜等 購入費	委託費	その他	小計		
	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費						
ごみ	8,559,455	631,830	505,573	147,851	9,844,709	1,711,809	92,475	1,612,949	173,708	114,353	432,489	104,555	4,242,338	237,081	14,324,128
し尿	3,483,478	0	0	56,300	3,539,778	467,282	3,990	827,726	1,052	7,350	151,590	11,021	1,470,011	73,446	5,083,235
計	12,042,933	631,830	505,573	204,151	13,384,487	2,179,091	96,465	2,440,675	174,760	121,703	584,079	115,576	5,712,349	310,527	19,407,363

表7-5 ブロック別ごみ処理歳入の内訳(市町村)

(平成14年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
松江ブロック	42,976	0	478,400	437,433	4,959	2,533,683	3,497,451
安来ブロック	0	0	0	14,707	2,778	478,762	496,247
仁多横田ブロック	0	0	0	0	0	97,843	97,843
加茂ブロック	0	0	0	6,969	1,186	328,111	336,266
飯石ブロック	0	0	0	0	1,921	306,331	308,252
出雲ブロック	0	8,400	0	277,174	681	1,406,823	1,693,078
大田ブロック	0	0	0	8,743	1,377	437,442	447,562
邑智ブロック	0	0	0	0	0	177,104	177,104
浜田ブロック	0	752	0	64,929	6,146	1,054,395	1,126,222
益田ブロック	197,931	0	640,900	27,764	0	833,537	1,700,132
海士町	0	0	0	10,408	0	41,430	51,838
西ノ島町	8,227	0	17,900	17,416	0	69,436	112,979
知夫村	0	0	0	3,903	0	12,519	16,422
島後ブロック	0	0	0	116	2,881	251,699	254,696
合計	249,134	9,152	1,137,200	869,562	21,929	8,029,115	10,316,092

表7-6 ブロック別ごみ処理歳出の内訳(市町村)

(平成14年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費										合計
	工事費			調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費	組合 分担金	その他	小計	その他	
	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費							
松江ブロック	9,571	558,233	6,143	9,975	41,378	625,300	807,163	45,869	125,034	45,834	11,258	456,329	1,306,610	9,793	2,807,890	64,261	3,497,451
安来ブロック	0	0	0	0	0	0	52,000	9,708	16,400	11,465	0	226,795	172,438	7,441	496,247	0	496,247
仁多横田ブロック	0	0	0	0	39,801	39,801	0	0	0	0	0	0	58,042	0	58,042	0	97,843
加茂ブロック	0	2,821	0	0	28,277	31,098	9,905	4,743	8,652	13,596	0	48,698	216,866	2,708	305,168	0	336,266
飯石ブロック	0	0	0	0	105,818	105,818	0	0	0	0	0	7,146	195,288	0	202,434	0	308,252
出雲ブロック	0	0	0	0	486,744	486,744	220,728	4,954	113,312	12,198	23,432	438,727	318,550	1,260	1,133,161	73,173	1,693,078
大田ブロック	0	691	0	0	123,068	123,759	0	37,537	33,789	9,521	0	123,916	106,421	12,619	323,803	0	447,562
邑智ブロック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177,104	0	177,104	0	177,104
浜田ブロック	0	0	0	0	161,041	161,041	166,192	12,745	2,981	1,654	12,931	274,890	479,278	14,336	965,007	174	1,126,222
益田ブロック	863,813	0	0	0	76,578	940,391	201,480	31,303	791	36,609	0	153,583	331,263	0	755,029	4,712	1,700,132
海士町	0	0	0	0	0	0	20,961	835	9,290	991	0	19,761	0	0	51,838	0	51,838
西ノ島町	25,725	0	0	0	0	25,725	50,997	732	20,126	2,252	0	11,355	0	1,792	87,254	0	112,979
知夫村	0	0	0	0	0	0	375	1,042	3,826	993	0	8,120	0	2,066	16,422	0	16,422
島後ブロック	0	0	0	0	13,466	13,466	0	0	0	0	0	280	233,802	0	234,082	7,148	254,696
合計	899,109	561,745	6,143	9,975	1,076,171	2,553,143	1,529,801	149,468	334,201	135,113	47,621	1,769,600	3,595,662	52,015	7,613,481	149,468	10,316,092

表7-7 ブロック別歳入の内訳（事務組合）

（平成14年度、単位：千円）

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	市町村 分担金	その他		
松江ブロック	377,221	0	1,272,600	40,617	1,422,277	114,311	28,516	3,255,542
安来ブロック	0	0	0	9,359	172,438	822	0	182,619
仁多横田ブロック	65,911	0	199,700	27,571	97,843	0	0	391,025
加茂ブロック	85,105	0	526,500	46,057	245,143	0	0	902,805
飯石ブロック	218,289	0	631,600	25,747	301,106	23,786	0	1,200,528
出雲ブロック	1,100,296	0	2,606,700	68,678	731,005	121,587	0	4,628,266
大田ブロック	229,531	0	782,400	30,746	229,489	650	12,715	1,285,531
邑智ブロック	0	515	0	33,385	177,104	0	3,054	214,058
浜田ブロック	0	0	21,300	32,801	640,319	23,746	16,252	734,418
益田ブロック	107,273	0	376,733	10,486	407,841	95,044	2,244	999,621
島後ブロック	61,110	0	154,900	58,169	247,268	5	8,263	529,715
合計	2,244,736	515	6,572,433	383,616	4,671,833	379,951	71,044	14,324,128

※宍道町斐川町環境衛生組合の事業費は松江ブロックに含む

表7-8 ブロック別歳出の内訳（事務組合）

（平成14年度、単位：千円）

歳出	建設・改良費					処理及び維持管理費								その他	合計
	工事費			調査費	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費	その他	小計		
	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費						
松江ブロック	1,769,898	24,795	0	0	1,794,693	741,764	17,924	529,677	36,049	0	12,301	0	1,337,715	123,134	3,255,542
安来ブロック	0	0	0	0	0	68,811	0	103,785	0	0	0	0	172,596	10,023	182,619
仁多横田ブロック	305,412	0	0	0	305,412	21,020	20,159	20,284	24,150	0	0	0	85,613	0	391,025
加茂ブロック	81,504	552,035	0	0	633,539	96,549	2,820	121,505	1,078	0	47,314	0	269,266	0	902,805
飯石ブロック	364,392	55,000	491,232	0	910,624	76,578	5,330	90,342	960	37,170	63,506	781	274,667	15,237	1,200,528
出雲ブロック	4,141,680	0	0	67,190	4,208,870	105,446	0	145,397	14,726	25,830	43,050	0	334,449	84,947	4,628,266
大田ブロック	1,051,712	0	4,500	0	1,056,212	103,534	6,222	18,327	0	0	85,382	15,854	229,319	0	1,285,531
邑智ブロック	0	0	0	0	0	64,478	33,535	63,412	2,305	5,962	43,367	999	214,058	0	214,058
浜田ブロック	124,425	0	0	40,397	164,822	153,954	0	248,260	87,407	28,539	0	51,436	569,596	0	734,418
益田ブロック	517,878	0	2,319	40,264	560,461	150,828	0	165,728	40	0	88,465	30,359	435,420	3,740	999,621
島後ブロック	202,554	0	7,522	0	210,076	128,847	6,485	106,232	6,993	16,852	49,104	5,126	319,639	0	529,715
合計	8,559,455	631,830	505,573	147,851	9,844,709	1,711,809	92,475	1,612,949	173,708	114,353	432,489	104,555	4,242,338	237,081	14,324,128

7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。
平成 14 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 626 人である。
内訳は、総計でゴミ処理が 544 人、し尿処理が 82 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分		ご み		し 尿		合 計		総 計
一般職	事務系	101	46	8	19	109	65	174
	技術系	11	43	2	32	13	75	88
技能職	収集・運搬	178	38	4	0	182	38	220
	中間処理	16	94	1	13	17	107	124
	最終処分	5	11	0	0	5	11	16
	その他	1	0	0	3	1	3	4
合 計		312	232	15	67	327	299	626

注) 左: 市町村従事職員数
右: 事務組合従事職員数

7-3 委託・許可業者数

県内の委託・許可業者の状況を表 7-9 に示す。
平成 14 年度末における委託・許可業者は 541 業者である。

表 7-10 委託・許可業者の状況

区 分		業 者 数
ごみ	委託業 (法第 6 条)	176
	許可業 (法第 7 条)	219
し尿	委託業 (法第 6 条)	21
	許可業 (法第 7 条)	125

7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 14 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11, 12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ごみ専業	し尿専業	兼業	合 計
業者数	92	30	18	140

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	ごみ関係	し尿関係	浄化槽関係	合 計
従業員数	642	182	226	1,050

8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設及び事業者が許可を受けて設置する一般廃棄物焼却施設のダイオキシン類濃度測定結果について本県と全国レベルでの比較を表 8-1～3 に示す。

表 8-1 ダイオキシン濃度の平均値(市町村設置)(単位:ng-TEQ/Nm³)

	施設規模	測定箇所数	平均値	中央値	最小～最大
島根県	4t/h 以上	5	0.33	0.010	0.00066～1.0
	2～4t/h	3	6.0	5.7	5.0～7.3
	2t/h 未満	12	12	1.0	0.16～85
	合計	20	8.6	0.88	0.00066～85
全国	4t/h 以上	636	0.58	0.03	<0.01～53
	2～4t/h	937	1.9	0.21	<0.01～74
	2t/h 未満	798	5.8	0.79	<0.01～12
	合計	2,371	2.9	0.18	<0.01～120

注)1 調査時期：平成 13 年 12 月 1 日～14 年 11 月 30 日

2 共通煙道の場合は複数炉で 1 測定箇所。

表 8-2 ダイオキシン濃度の平均値(事業者設置)(単位:ng-TEQ/Nm³)

	測定箇所数	平均値	中央値	最小～最大
島根	7	3.2	0.20	0.0000032～21
全国	127	2.7	0.28	<0.01～41

注) 調査時期：平成 13 年 12 月 1 日～14 年 11 月 30 日

表 8-3 ごみ焼却施設におけるダイオキシン類測定結果

施設 の 名 称	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値 (ng-TEQ/Nm ³)				備考
		今回調査結果 (H13.12.1~ H14.11.30)	H14.12.1 からの 排出基準	H12.12.1~ H13.11.30	H11.12.1~ H12.11.30	
松江地区広域行政組合 南工場 北工場	BF	0.00066	1.0	0.025	0.041	
	EP	1号炉 0.64	1.0	0.37	0.25	
		2号炉 1	1.0	0.24	—	
安来能義広域行政組合 清瀬クリーンセンター	BF	(4.5)	10	7.9	2.2	
		(1.1)	10	4.7	4.8	
宍道町斐川町環境衛生組合 クリーンセンター	EP	5.9	10	8.2	7.9	廃止済
仁多町横田町広域事務組合 ごみ焼却施設	BF	(0.18)	5.0	2.3	9.3	
		(1.2)		44		
飯石郡町村事務組合 ごみ焼却施設	洗煙	0.77	10	0.68	5.1	廃止済
赤来町頓原町環境衛生組合 ごみ焼却場	MC	49	10	50	6.2	廃止済
出雲市外6市町広域事務組合 神西清掃工場	BF	1号炉 0.0097	1.0	45	38	
		2号炉 0.01		27		
平田市立環境センター	EP	6.4	10	13	5.5	廃止済
佐田町清掃センター	MC	0.16	10	0.27	3.7	廃止済
大田市外2町広域行政組合 大田ごみ焼却場	MC・EP	5.7	5.0	—	1.7	廃止済
邑智郡町村総合事務組合 笹畑クリーンセンター	BF	0.35	10	0.5	0.090	
浜田地区広域行政組合 浜田清掃第一処理場	EP	7.3	5.0	6.7	1.9	
江津市桜江町環境衛生組合 焼却場	洗煙	—	10	13	0.79	廃止済
三隅町ごみ処理センター	MC	—	10	0.19	0.81	廃止済
益田地区広域市町村圏事務組合 益田清掃工場	EP	5	5.0	66	13	
津和野町清掃センター	CC	0.54	10	11	—	廃止済
	EP	85	10	37	—	
島後町村組合 島後清掃センター	BF	2.7	10	—	1.4	
海士町清掃センター	BF	0.26	5.0	1.4	0.40	
西ノ島ごみ焼却場 清美苑	BF	0.75	10	—	45	
加茂町外三町清掃組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	(0.074)	0.028	—	—	—
知夫村	*	1.3	10	4.7	14	

注) 1 集塵方式において、EP=電気集じん器, MC=マルチサイクロン, CC=キャスタブル成形サイクロン, BF=バグフィルター, * = 二次燃焼重力沈降方式。
2 ()内は測定期間外の数字。